

富山大学 教養教育院

令和2年度 第3回

FD研修会報告

Faculty Development Report

FD



Liberal Arts and Sciences at **University of Toyama**

目 次

はじめに	2
事例紹介の概要	3
1. 福田 翔（教養教育院）	3
2. 杉森 保（教養教育院）	4
3. 萩原 英久（研究推進機構）	4
4. 堀 悦郎（医学部）	5
5. 高崎 一朗（工学部）	6
6. 尾山 真（地域連携推進機構）	7
総括	8
あとがき	10
参考資料	
・ 開催挨拶	
・ 開催要項	
・ 参加状況	
・ 講演スライド	
・ 講評	

はじめに

教養教育科目の授業満足度の向上と授業運営の改善の方策を探ることを目的とし、令和2年度第3回教養教育院FD研修会「グッドプラクティス事例紹介ー授業満足度の向上に向けてー」を12月16日に開催した。そこでは、学生への授業評価アンケートにおいて高い授業満足度を得ている6つの授業科目をピックアップし、それらの授業担当の先生方にご自身の授業で実践されている様々な工夫を紹介していただいた。それらの講演で紹介された事例について、教育改善検討WGにおいて整理・分析を行い授業満足度の向上に繋がる要因について探った。本報告書は、その整理・分析の結果を多くの教員で共有できるように簡潔にまとめたものである。

次項以降に、6件の講演内容のそれぞれについて教育改善検討WGの整理・分析で得られた知見を示す。授業アンケート結果に対する教学IR分析により、「授業満足度」は「分かりやすさ」「興味関心」「説明補助手段」等の要因と有意な相関を示すことが分かっている。各事例紹介の中で示されたそれらの要因に関連した工夫について、「授業改善に繋がる要点」として各項に示している。そして、各事例紹介の概要とそこで実践されている有益な取り組みを中心として「発表概要」にまとめた。それらの6件の事例紹介で示された授業満足度の向上に繋がる要因を俯瞰し、最後に総括としてまとめている。

各事例紹介で用いられたスライド等を報告書の末尾に参考資料として添付した。より詳しく講演内容を知りたい方は、そちらも参照していただきたい。また、教養教育支援室に問い合わせ頂ければ、各講演のビデオ動画の視聴も可能である。

事例紹介の概要

1. 外国語系科目「中国語基礎 I・II」、「発展多言語演習」： 福田 翔先生（教養教育院）

【授業改善に繋がる要点】

- ・「分かりやすさ」： 苦手意識を持つ履修者のために中国語と日本語や英語との比較、質問を投げかけながら説明、インターネットでの活用例の提示
- ・「興味関心」： 音声の即時確認、ペアワーク、オンラインでのネイティブとの会話の導入

【発表概要】

「中国語基礎 I・II」は、文法の習得、発音、リスニング、読解に重心を置いた授業内容となっている。文法については苦手意識を持つ履修者も多いため、次のような工夫がなされている：（1）既になじみのある言語である日本語や英語と比較をしながら、中国語ならではの文法を意識させる、（2）文法の説明を行うときに教員が一方的に話をするのではなく、学生に質問を投げかけながら説明を展開する、（3）手元の教科書だけを見せるのではなく、教科書の要点をポイントごとに1枚のスライドにまとめてスクリーンで見せる、（4）授業で学んだ語句が、インターネット上で実際にどのように使われているかについて紹介する。そこでは、語学学習において、学んでいる言語の実存性や言語の背後にある文化を感じる機会の重要性を強く意識していることが感じられる。発音、リスニングについては、テンポ、音声の即時確認、ペアワークの変更を心がけており、それが学生の集中力と緊張感を維持する工夫となっている。

「発展多言語演習」（集中講義）では、半年～2年程度、中国語を学んできた学生9名の履修があった。授業は3つの部分から構成されている：（1）履修者がすでに学んだ知識を使って自己紹介文等の文章を書き、教員がそれを添削して返却、（2）履修者と蘇州科技大学の日本語学科の学生を一对一でオンラインでつなぎ、添削済みの文章を利用したコミュニケーション、（3）実際のコミュニケーションで学んだことを基にした講義。語学学習において、その言語を実際に使用してネイティブと会話を行うことは、言語習得のための大切なステップである。それに加え、ネイティブとの会話はその言語が使用されている文化圏のことを知る上でも有益である。しかし、教場でそれを実現するのは容易ではないが、本授業ではオンラインを利用してそれに挑戦する野心的な試みが行われている。

発表全体を通して感じたのは、学生に対して丁寧に向き合う姿勢が、授業の分かりやすさにつながっていること、そして、言語の実用性もさることながら、その背後にある文化まで意識させようという意欲が、学生の興味・関心を刺激していることである。こ

これらの要素がうまく絡み合い、全体として授業の満足度の高さにつながっているものと推測される。

2. 理系基盤教育系科目「基礎化学 - B」： 杉森 保先生（教養教育院）

【授業改善に繋がる要点】

・「分かりやすさ」：不必要に高度専門化しない授業内容、授業時間毎の疑問点・感想の提出と小テストの実施

・「説明補助手段」：Moodle コースでの学生の疑問点・感想とそれに対するコメントの公開、学生の使いやすい連絡ツール（LINE など）の利用、黒板の見え方への注意

・「学生との信頼関係の構築」：レポート・質問への丁寧なフィードバック、公平な評価基準の周知

【発表概要】

「基礎化学 - B」は、薬学部 1 年次生約 100 名を対象として前期に開講される科目である。授業構成には、受講生のほとんどが基礎的な事項については高校で修得していることや専門教育との連携が考慮されている。必修科目としての内容・レベルを考慮した授業内容に設定しているが、不必要に高度専門化しない配慮がなされている。学生にとって使いやすい連絡ツール（LINE など）の利用、提出レポートや質問への丁寧なフィードバック、公平な評価基準の周知がなされており、これらにより学生との信頼関係の構築が図られている。教授法の工夫として、座席からの黒板の見え方への注意、授業時間ごとの疑問点・感想の提出、小テストによる理解度の把握が挙げられた。学生の理解・意欲を向上させるために、Moodle コースに学生の疑問点・感想とそれに対するコメントを公開し、学生が自らの理解度や他の学生の疑問点などについて共有できるようにもしている。これらにより、学生が要望を出しやすい環境をつくり、その要望に迅速に応答している。

学生の立場から役に立つ科目という観点に常に立ち、学生とともにより良い授業を創っていかうという姿勢を貫かれている。また、授業評価アンケートについて独自に様々な分析を行う等、授業改善に真摯に向き合っている。これらの姿勢が、授業の満足度の高さにもつながっているものと判断される。

3. 自然科学系科目「化学物質の世界」：萩原 英久先生（研究推進機構）

【授業改善に繋がる要点】

- ・「分かりやすさ」：1回の講義で1トピックという授業進行、初回授業でのアンケート結果による柔軟な授業内容の調整
- ・「興味関心」：時事ネタを折り込むことによる受講生の関心の誘起
- ・「説明補助手段」：講義スライドを事前に Moodle にアップロード、レポートによる受講生の自宅学習の促進

【発表概要】

「化学物質の世界」では、「化学物質と人類の関わりについて基礎的な化学の知識を基に考え、化学の目で問題を見る素養を身に着ける」ことを授業のねらいとしている。講義についての工夫として、「受講生の把握」「授業内容」「説明補助手段とレポート」の3点が挙げられた。1点目の「受講生の把握」に関しては、第1回目の講義の後に「授業計画の中でどのテーマに興味があるのか」と「この講義を履修した理由」についてのアンケートを取っている。これにより、学生の授業内容についての要望を把握し、それが可能であれば講義内容に含める柔軟な授業進行を行っている。また、アンケートから、高校で化学を履修していない受講生が大半であることを把握し、「丁寧な説明を心がける」と「専門用語を極力使わない」という方針を導いている。2点目の「授業内容」に関しては、1回の講義で1トピックという授業進行としている。これは、連続した内容の講義だと1回休むと授業についてくるのが難しくなるためである。また、化学に関する旬の時事ネタを挟む工夫をしている。そのネタとしては、「聞いたことはあるけど説明できない」くらいの身近な内容がベストであり、例えばノーベル化学賞の紹介やマイクロプラスチックによる海洋汚染を話題として挙げたことが示された。3点目の「説明補助手段とレポート」に関しては、「Moodle にアップロードし講義スライドで予習」→「講義を聞いて内容を理解」→「レポート作成（計7回のレポート）で理解を深める」、という学習サイクルの実践が示された。

初回の授業において行うアンケートの結果をその後の授業進行に速やかに取り入れることが、学生の理解度の向上と興味関心の誘起に繋がっているものと判断される。特に受講生のバックグラウンドの把握により、授業内容と難易度を適切に設定できていることが有効に働いているものと判断される。

4. 医療・健康科学系科目「脳科学入門」：堀 悦郎先生（医学部）

【授業改善に繋がる要点】

- ・「分かりやすさ」：一つのトピックを30分、専門的な図でも専門用語をできるだけ用いないことで感覚的に理解することを優先
- ・「興味関心」：時事問題を絡めることで受講生の興味を喚起

・「聞き取りやすさ」：滑舌良く話す心がけ、学生の目を見ての説明、全体を見渡し見られていることを意識づけ、緩急強弱をつけた説明

【発表概要】

「脳科学入門」では、パワーポイントによってスライドを提示する形式をとっており、対話や演習は行っていない。1回の授業を分割した構成を考え、一つの話題について長々と話しすぎないことによって受講生の集中力を維持している。専門的な説明だけでなく、学生の視点から分かりやすい説明も合わせて行っている。時事問題を絡めることで興味を喚起し、分かりやすいだけでなく楽しめるような工夫もしている。

「聞き取りやすさ」を重要視しており、脳科学的知見から幾つかのポイントが示された。(1)「滑舌良く話す」：滑舌は聞き取りやすさに直結するものの容易に改善しないようにも思われるが、それで少しずつでも心がけることで効果はある。(2)「誰に向けて話すか」：学生から見たときに先生がこっちを見ているということが、学生に向けて話しているということを伝える上で鍵になる。(3)「緩急強弱をつけて話す」：のべつ幕なしで話し続けるのではなく、あえて間を作ることで受講生の注意を引きつけることが可能である。

授業内容の工夫とともに聞き取りやすさを重要視しており、「学生にいかにしてわかってもらうか」を大切にしていることが分かる。その工夫や姿勢が学生に伝わることで学生の学習意欲も向上し、授業満足度の向上に反映されているものと判断される。

5. 自然科学系科目「生命の世界」：高崎 一朗先生（工学部）

【授業改善に繋がる要点】

- ・「分かりやすさ」：専門用語は極力使わない
- ・「興味関心」：身近な「薬」を題材にやや難しい内容を織り交ぜながら構成
- ・「説明補助手段」：投影するスライドの一部を穴あきにした資料の配付

【発表概要】

授業内容は「薬」についてであり、身近にある薬がどのように働いて病気に効くのか、その仕組みなどを説明している。市販薬も含めればわたしたちの周りには多くの薬があることから学生の興味を得られやすいと考えられる。授業で得た知識などを家族や友人に話したくなることを目指した講義している。冒頭の五回程度で理解の基礎となる内容（薬の作用、体の反応など）を扱ったのち、身近な薬を例に挙げて紹介する工夫がなされている。

授業で心がけていることとして、説明は丁寧にゆっくりと行う、身近な薬を意識する、

専門用語は極力使わず使うときは丁寧に説明する、などが挙げられた。授業は主にスライドを用いており、そこでは文字数を少なくして視覚的にとらえやすいようにしている。授業中に飽きさせない工夫として、「理解しやすい内容」と「少し理解に時間のかかる内容」にわけて説明し、これらを組み合わせてメリハリのある講義内容としている。配付資料はスライドを穴あきにしたものとして学生に書き込ませるほか、重要な項目は板書も利用して理解を深められるように工夫している。

学生の心をつかむ、教員を身近に感じてもらうなど、教員自身の人柄が伝わる工夫をしている。発表を通して「学生に講義をすることが楽しい」と感じておられることが伝わってきた。そのように学生とともに楽しみながら授業を行うことは、そのまま授業満足度の向上に繋がるものと判断される。

6. 総合科目「地域ライフプラン」「産業観光学」「富山の地域づくり」「富山のものづくり概論」：尾山 真（報告者）・金岡 省吾・塩見 一三男先生（地域連携戦略室）

【授業改善に繋がる要点】

- ・「分かりやすさ」：到達点と内容の一貫性、レポートのフィードバック
- ・「興味関心」：ねらい（地域への定着）とゲストスピーカーの選択
- ・「説明補助手段」：クリッカー、「動きのある授業」
- ・「学生との対話」：テキストマイニング、レポートのフィードバック、質問・感想・要望対応

【発表概要】

地域連携戦略室が担当している「地域ライフプラン」「産業観光学」「富山の地域づくり」「富山のものづくり概論」では、前後期・夏季集中を通して授業があり、受講者数も例年延べ 500～600 名に上っている。これらの授業について、次の 5 点の授業改善の取組が紹介された。

1. 将来の方向性の提示

COC+の目的にあわせて全体のねらいを「働く・暮らす場として学生が地域に興味を持つ」と設定し、これに沿って個別の授業の役割やゴールが決められている。その結果、いずれも一貫性がある授業となり、学生に授業のねらいが伝わりやすく、分かりやすい授業につながっている。ゲストスピーカーの選定については、学生の感想と照合しながら社会人となる学生がゴールをイメージしやすいように配慮をしている。

2. 評価基準の明確化

評価基準の明確化に向けて、こまめなフィードバックが実施されている。前回の講義やディスカッションの確認に加え、令和元年度からはテキストマイニングも導入し、全

体としての傾向を伝える取組を始めている。レポートのフィードバックでは、高評価のコメントを箇条書きにして示すことで、学生たちに評価のポイントを伝えている。

3. 学生の参加促進

クリッカーの使用により、授業の前と後で同じ質問をして教員と学生双方にリアルタイムで反応を返すこと、大人数でも可能な限り前後左右の座席などを活用して個人ワークとグループワークによる話し合いと発表に時間配分し、動きのある授業を心がけている。

4. 対話の創生

学生の質問をゲストスピーカーに伝えて回答を返している。感想を書かせて要望には可能な限り対応することを心がけている。

5. PDCA サイクルによる継続的な授業の底上げ

「地域の定着度への効果」を図るために、独自に複数のアンケートをとって定量的な分析している。因子分析により、地域定着にはどのような学生の要因にどのような授業が必要かを探り、それに沿った授業改善の実施を心掛けている。

地域連携戦略室で担当されている総合科目について、室員の方々にまさ「連携」し「戦略」をもって授業運営されていることが示された。そのような土台により、授業コロナ禍でのオンライン授業においても迅速な対応がなされて、円滑に講義を進行させることができている。授業運営に対する熱意が授業内容の向上にそのままつながっていると言える。

総括

6 件の事例紹介を俯瞰すると、授業満足度の向上に向けた授業改善につながるキーワードとして次のような要素が抽出されてくる。

- (1) 授業内容と難易度の適切な設定
- (2) 学生の興味の喚起
- (3) レポートへのフィードバックや質問への丁寧な対応
- (4) 分かりやすい説明をしようという心がけ

(1) については、独自の授業アンケートや毎回の授業の感想の収集等により、学生のニーズと理解度を早期から把握することが有効と考えられる。(2) については、授業内容に関連した時事トピックを混ぜる、授業内容を30分ごとに区切る、1回の授業ごとにテーマを完結させる、というような授業構成により、学生の興味を誘起することが可能であり、それにより学生の集中力を保つことができる。(3) と (4) によっては、学生の学習意欲が向上すると同時に、教員が学生に分かってもらうということに真摯に

取り組もうと姿勢が学生にそのまま伝わり、相乗効果が起こるものと考えられる。

今回紹介された様々な授業内容や授業運営の工夫は、全ての授業科目にとって授業改善のヒントになるものであることは間違いない。ただ、それ以上に本質として明示されたことは、「自分の授業をより良いものにしよう」、「学生に興味を持ってもらおう」、「授業内容を分かってもらおう」、という教員自身の教育改善に対する姿勢が授業満足度という指標の向上に重要であるということであろう。

あとがき

今回の教養教育院 FD では、教養教育科目全体の授業満足度の向上を図ることを目的とし、学生への授業評価アンケートにおいて高い授業満足度を得られている先生方にご自身の授業で実践されている工夫を紹介していただきました。講演者の先生方には、コロナ禍で多忙となっている授業期間中での依頼であったのにも関わらず、快く講演を受諾して頂きありがとうございました。どの方の事例紹介も分かりやすく、そのことから高い授業満足度を得られている理由を理解できました。教授方法についても様々な示唆がありましたが、それとは別に、内容をどのようなものにするか、どのように分かりやすく説明するのか、といった授業についての基本的なことにどれだけ真面目に取り組むかということが授業満足度の向上に重要だとあらためて認識させられました。

FD 当日には多くの方にご参加頂き、活発な意見交換を行っていただけたことで有意義な会とすることができました。感謝いたします。

令和 2 年度教養教育改善検討 WG 座長 彦坂泰正

開会挨拶

本日は多くの学部の先生方、それから学生の皆さんにも御参加いただきありがとうございます。事例紹介を御担当いただく先生方におかれましても、御協力いただきありがとうございます。

今回のFDテーマのサブタイトルは、「授業満足度の向上に向けて」となっております。本学では中期計画において授業満足度を向上させなければいけないということになっており、そういった点からもタイムリーなテーマということになるわけです。しかし、それ以上に大学は教育機関の一つなので、学生に対していろいろな授業を提供していくという点が大学の重要な使命の一つであり、授業の中身の充実度が非常に重要です。小中学校・高校の教員は、互いの授業を参観し、自分の授業をさらに高めていく機会が数多くありますが、大学においてはこのような機会がほとんどないというのが実情ではないかと思えます。他の教員の授業をみて自分の授業の改善につなげていくことが、授業満足度の向上へつながっていくのではないかと思えます。

今回教養教育院で主催するFDにおいては、教養教育において大変満足度の高い授業を行っている先生方に授業の中身の一端を紹介していただくこととしております。

本日は長い時間となりますが、是非とも今後の授業の向上につなげていただければ嬉しく思います。

教養教育院副院長（学長補佐）
鳥海 清司

教養教育院 F D 2020

テーマ：「グッドプラクティス事例紹介-授業満足度の向上に向けて-」

研 修 内 容

1. 開催日時：令和2年12月16日（水） 15：00～17：00
2. 開催形態：Zoom等を利用したオンラインミーティング形式
3. 対象者：本学教職員，学生
4. 日 程
 - (1) 開会・オリエンテーション 15：00～15：10
 - ・ 開会の挨拶 鳥海清司（教養教育院副院長）
 - ・ 日程・趣旨説明 彦坂泰正（教養教育院教育改善検討WG座長）
 - (2) 事例紹介（発表者1名あたり発表10分+質問5分） 15：10～16：40
 - 福田 翔（教養教育院）
 - 杉森 保（教養教育院）
 - 萩原 英久（研究推進機構）
 - 堀 悦郎（医学部）
 - 高崎 一朗（工学部）
 - 尾山 真 他2名（地域連携推進機構）
 - (4) 全体討議・質疑応答（約10分） 16：40～16：50
 - (5) 閉会 16：50～17：00
 - ・ 講評及び閉会の挨拶 武山良三（教養教育院長）

教養教育院FD2020 参加状況

所属部局等	参加人数
教養教育院(理事含む)	18
人間発達科学部	2
経済学部	2
理学部	2
医学部	3
工学部	1
都市デザイン学部	2
大学院教職実践開発研究科	2
教育・学生支援機構	2
研究推進機構	4
地域連携推進機構	3
国際機構	2
総合情報基盤センター	2
学生	1
事務職員	6
合計	52

グッドプラクティス事例紹介

授業満足度の向上に向けて

福田 翔（教養教育院）

難しそう

文法は苦手

覚えるのが大変そう

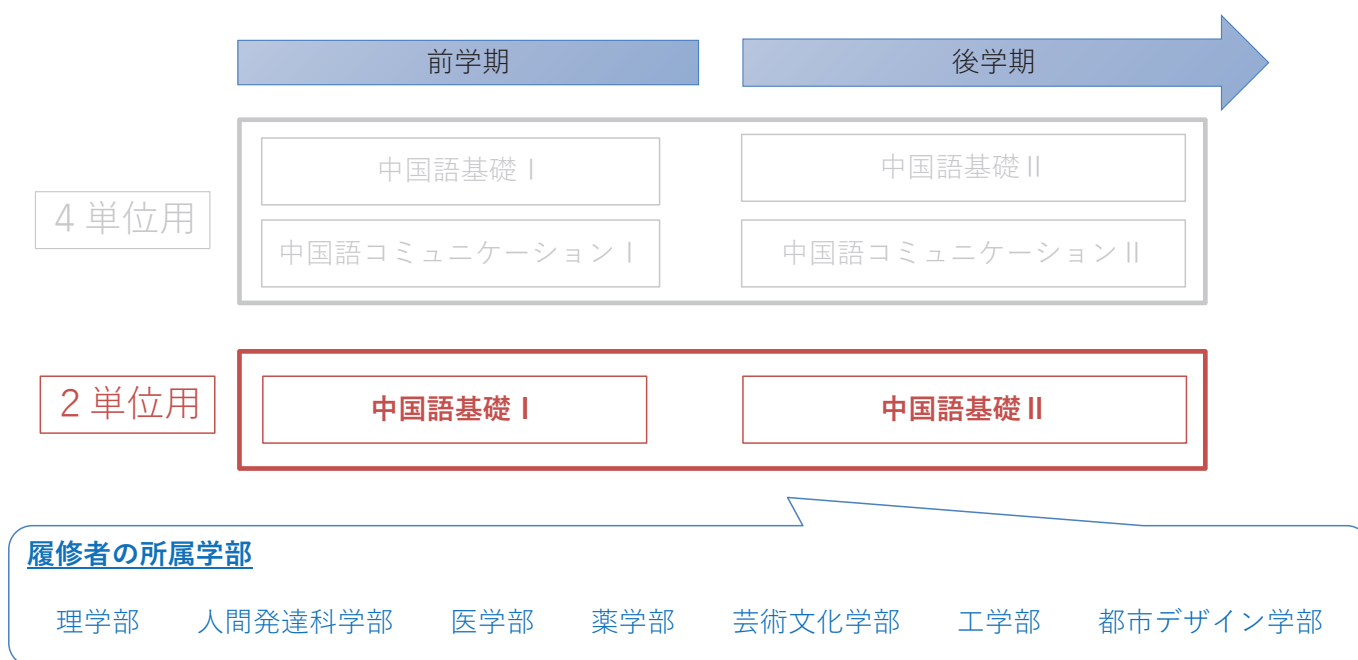
中国語の文法

英語と語順が似ている!?

シンプル!?

時制がない!?

1. 紹介する授業：「中国語基礎Ⅰ・Ⅱ」



「中国語基礎Ⅰ・Ⅱ」

< 授業のねらい >

- ◆ 中国語の基本的な**発音**ができ、かつ**聴いて理解**でき、**読んで理解**できることを目指す。
- ◆ 中国語の基本的な**文法を習得する**ことを目指す。

(2020年度「中国語基礎Ⅰ・Ⅱ」のシラバスより抜粋)

使用教科書の特徴

中国語の初級で学ぶべき文法

文法に関する練習問題

ちよつと見せて——いっしょに買い物

刘丽：今天的这部电影真好看。
 Jīntiān de zhèbù diànyǐng zhēn hǎokàn.

亮平：是啊。电影里的中文歌也很好听。
 Shì a. Diànyǐng lǐ de Zhōngwén gē yě hěn hǎotīng.

刘丽：现在才四点半，我们去逛逛商店。
 Xiànzài cái sì diǎn bàn, wǒmen qù guāngguāng shāngdiàn.

亮平：那，我想给我妹妹买个生日礼物。
 Nà, wǒ xiǎng gěi wǒ mìmèi mǎi ge shēngrì lǐwù.

刘丽：你想给她买什么礼物？
 Nǐ xiǎng gěi tā mǎi shénme lǐwù?

亮平：你帮我选一下，可以吗？
 Nǐ bāng wǒ xuǎn yíxià, kěyǐ ma?

刘丽：你看这顶帽子挺可爱的。多少钱呢？
 Nǐ kàn zhè dǐng màozi tǐng kě'ài de. Duōshǎo qián ne?

亮平：给我看看……一万三！
 Gěi wǒ kànkàn…… yí wàn sān!

【語句】歌：好聽 hǎotīng；自給自足 zìgěizìzú；才 cǎi；了 le；選 xuǎn；お礼のたのみに 生日 shēngrì；去年 ni；照 hào；手紙 shǒuzhǐ；選選 xuǎn；漂亮 piàoliang；一 yí；可以 kěyǐ；よらしい yōらし；選選 xuǎn；（好きなものを買えること） 帽子 màozi；選 xuǎn；動動 dōng；なかなか 多少 shǎoshǎo qián；いくつ（値段） 万 wàn；分 fēn

取りあげられた文法が使用された会話文

ポイントB

1 「ちよつと～する；～してみる」——動詞の重なりと動作用「一下」

① 看看 / 看一看 / 看一下 kànkàn / kàn yí kàn / kàn yíxià ② 休息休息 / 休息一下 xiūxiū xiūxiū / xiūxiū yíxià

③ 你尝尝这个包子。 nǐ chángcháng zhège bāozi. ④ 我去一下洗手间。 wǒ qù yíxià xǎoshuǎn.

⑤ 散步多 sǎnbù duō ⑥ 奶奶去公园跳舞、打打牌。 nǎinai qù gōngyuán tiànwǔ wǎ, dǎ dǎ pái.

2 「（宛て/のために）～する」——介詞「给」

主题 + 「给」 + 目的語 + 動詞（+ 目的語）

① 我给男朋友打电话了。 wǒ gěi nǚpéngyǒu dǎ diànhuà le. ② 我给你介绍一下。 wǒ gěi nǐmen jièshào yíxià.

③ 我给孩子们买了一些点心。 wǒ gěi háizǐmen mǎi le yíxiē diǎnxīn. ④ 请给我看看。 qǐng gěi wǒ kànkàn.

3 「～してかまわない；～してみてもよい」——助動詞「可以」

① 里边可以参观一下吗？——当然可以。/ 不行。 lǐbian kěyǐ cānguān yíxià ma? — Dāngrán kěyǐ. Bù xíng.

② 用信用卡付，可以吗？ yòng xìnnyòngkǎ fù, kěyǐ ma? ③ 这本书很有趣，你也可以看看。 zhè běn shū hěn yǒuqù, nǐ yě kěyǐ kànkàn.

4 100以上の数

一百 yíbǎi 一千 yíqiān 一万 yíwàn 二百 èrbǎi 四百 sìbǎi 两千 èrqiān 西方 xīfāng

一百零一 yíbǎi líng yí 一百一十 yíbǎi yí shí

一千零一 yíqiān líng yí 一千零二十 yíqiān líng èrshí 一千三百 yíqiān sān bǎi

※ 量詞が無く場合原形詞を省略しない。 一百八十个 (×) 一百八十个 yíbǎi bāshí ge

課速 这个多少钱？——二百六十块。 / 二百六。 zhège duōshǎo qián? — Èrbǎi lǐshí kuài. / Èrbǎi liú.

トレーニングB

⑤ 次の語句を使って「ちよつと～する；～してみる」と書いてみましょう。

听 写 想 等 听写 复写 唱歌 翻译
 tīng xiě xiǎng děng tīngxiě fùxiě chànggē fānyǐng
 (聴く) (書く) (考える) (待つ) (相談する) (復習する) (歌を歌う) (翻訳)

⑥ () に適切な語句を入れて書き添ってきましょう。

1) ここちよつと待ってください。 你在这几()。
 Nǐ zài zhèjǐ ()。

2) 幾ちよつと相談してごらん。 你跟他()。
 Nǐ gēn tā ()。

3) 君ちよつと手伝いに行って。 你去()。
 Nǐ qù ()。

⑦ 日本語に合うように語句を並べ替えましょう。

1) 私は李君にメールを送った。
 我(小 李 / 了 / 发 邮件 / 给 / 。)
 Wǒ Xiǎo Lǐ le / fā yóujiàn / gěi / 。 ※ 发邮件：メールを送信する

2) 彼はよく子供たちに話をしてくれる。
 他(孩子们 / 经常 / 讲 故事 / 给 / 。)
 Tā háizǐmen / jīngcháng / jiǎng gùshi / gěi / 。 ※ 经常：よく ※ 讲故事：お話をする

3) ちよつとパスポートを見せてください。
 请(我 / 你 的 护照 / 给 / 看看 / 。)
 Qǐng wǒ / nǐ de hùzhào / gěi / kànkàn / 。

⑧ 与えられた語句と「可以」を使って書いてみましょう。

1) ここは喫煙OKですか？ (这儿zhèr, 抽烟chōuyān (タバコを吸う))

2) あなたは辞書を引いてみてみませんか。(查词典chá cídiǎn (辞書を引く))

3) あなたのペンちよつと使いたんぞけど、いいですか？
 (用yòng (使う), 笔bǐ (ペン), 想xiǎng)

⑨ 次の数を中国語で書いてみましょう。

1) 200 2) 318 3) 2000 4) 3002 5) 10010 6) 810元

(『しっかり初級中国語』石田友美他，白水社，2016)

授業で意識していること

- ◆ **文法説明**では、漢字漢語を知る日本語母語話者という前提で、母語である日本語や既習の英文法を意識することで、中国語の文法の特徴や中国語らしい表現を解説し、言語に対する興味を引き出す。
- ◆ **授業中**は、中国語を「書く・読む・話す・聞く」等の活動を通して、できる限り中国語に触れられるようにテンポよく授業を展開する。

「文法の解説・説明」と「練習問題」

1. 存在を表す文

有 (yǒu) 「ある、いる」

存在 「場所に(人・物)がいる(・ある)」

場所 + 有 + 存在する人・物

那儿 有 人。 「あそこにいる。」

那儿 **没有** (méi) 人。 「あそこにはいない。」

「有」の否定は「没有」となる!

文法の解説・説明

練習問題①: 日本語を中国語に訳しなさい。

1) 私たちの学校には図書館 (túshūguǎn) があります。
我们学校 有 图书馆。

2) あそこにホテル (jiǔdiàn) があります。
那里 有 酒店。

3) 私の家は7人家族です。
我家 有 七口人。

文法を使った練習問題

2. 「～した」を表す2つの“了”

了 (le) 動作が完了したり、実現することを表す。

動詞の直後に置く

我 买了 (le) 两张票。 「私は2枚のチケットを買った。」

我 买了。 「私は買った。」

我 买票了。 「私はチケットを買った。」

「了」は動詞の後に置く!

文法の解説・説明

練習問題②: 日本語を中国語に訳しなさい。

4) 私は雑誌を1冊買いました。
我 买了 一本杂志。

5) 私はパンを2つ買いました。
我 买了 两个面包。

6) 私はコーヒーを2杯飲みました。
我 喝了 两杯咖啡。

文法を使った練習問題

文法の解説・説明

ポイントをできるだけ分かりやすく1枚のスライドにまとめる

文法項目⑧ (1) 動詞の重ね型と「一下」

動詞を重ねて、「ちょっと～する」あるいは「～してみる」という意味で「一下」を付けても同じ意味を表せます。

等 「待つ」	等等	说一下	AA型
休息 「休憩する」	休息休息	休息一下	ABAB型
散步 「散歩する」	散散步	散一下步	[動詞+目的語]型

散步 「散らばる」「歩み」

日本語の感覚との違いを意識して、中国語の文法の振る舞いを説明

なぜそうなるかを解説

順番に提示し、**質問しながら**説明を展開

練習問題：学んだ文法を使って中国語に訳す

学習した文法の確認

1) ちょっと見る / 歌を歌ってみる

看看 唱一下歌儿

2) この問題はじっくり考えてみてください。

这个问题你好好儿想想

以前勉強した語彙や文法項目の復習

3) このタピオカミルクティーちょっと飲んでみて。

你尝尝这个珍珠奶茶。

辞書等で単語を調べてみる

言葉を通して中国をさらに知る

中国では時計を贈ってはいけない？

zhōng
钟

nào zhōng
闹钟



biāo
表

shǒu biāo
手表



zhōng
钟

掛け時計・置き時計

huà biāo
华表

中国では、時計を送ってはいけない？

sòng zhōng
送钟

「時計を送る」

sòng zhōng
送终

「死を看取る」

鐘（钟）さんは、宋くんと結婚できない？

宋钟 → 送

《送表》もダメなのか？



また、宋君は鐘さんを連れの奶奶のお見舞いに行った。結果、追い出されてしま

恋人同士なら大丈夫だが・・・

qinglǚ biāo
情侣表

「ペアウォッチ」

「餐」という字は、改まった、書き言葉的な響きがある？

cān tīng
餐厅

食事をする、食べる
食事、料理

「餐」[音]サン [意味]飲み食い

晚餐 (ばんさん) 午餐 (ごさん) 朝食

中国語の《餐》も、現代語では、少し改まった響きがある。

Yī tiān sān cān 一天三顿饭

Yī rì sān cān 一日三餐

俗な言葉

日本語だと・・・

「餐」[音]サン [意味]飲み食い

晚餐 (ばんさん) 午餐 (ごさん) 朝食

kuài cān 快餐

ファーストフード



(<https://www.mcdonalds.com.cn/> 参照)

中国のネット掲示板で流行っている言葉

中国男足 谁都赢不了

誰 みんな 勝てない

強いのはサッカー？ それとも卓球？

中国乒乓球 谁都赢不了

誰 みんな 勝てない

单身狗的来由：

同じ構造が留んでいて、多岐だけど...

一是谁都看不上，二是谁都看不上

一つ誰 一人 二つ誰 一人

单身狗的来由：

中国の社会的背景によって意味が特定できる？

原来是喜欢一个人，现在是喜欢一个人

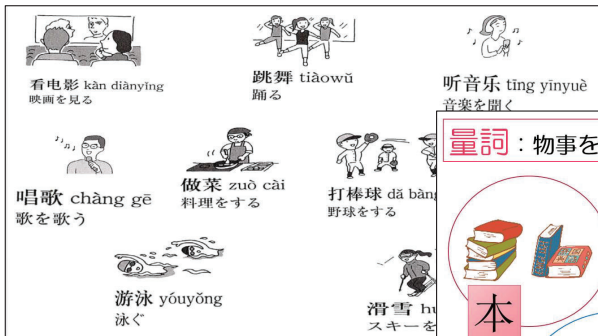
元一人 現一人 今一人 現一人

学習した語彙や表現等について、補足的な情報を加える。

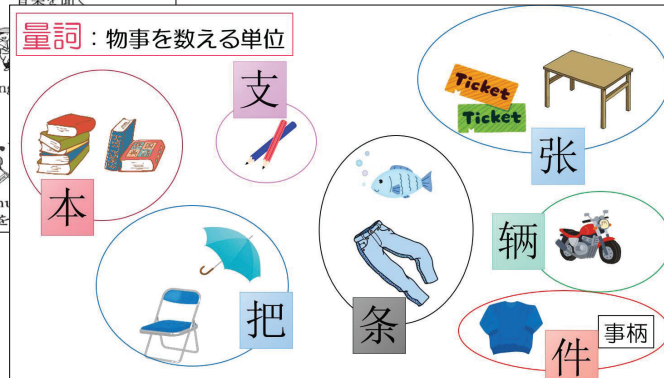
中国語の「読む・話す」活動の工夫

(1) 単語の発音の練習

絵や写真等、視覚を使って単語を練習する。



(『NHKテレビで中国語』2019年4月号, pp.52-53 より抜粋)



中国語の「読む・話す」活動の工夫

(2) 教材を用いた発話練習・ペアでの会話練習

- テンポよく：学習した表現や文法を使った文を発音する
(例：教師が「日本語」を言って、学習者が「中国語」にする等)
- パワーポイントに音声データを添付：すぐに音声を流せるように
- ペアをかえて会話の練習：授業の始めの小テストを利用して席をバラバラにし(毎回ではなく、時々)、いつもと違う相手と会話練習

中国語の「読む・話す」活動の工夫

(3) 学習した文法や表現を使って自分のことを表現してみる

- 簡単な内容：質問をして口頭ですぐに答える
- 複雑な内容：紙に書く等、準備の時間を取って発表

日本で中国語を学習していると…

勉強した中国語を実際に使う機会がなかなかない

2. 紹介する授業：「発展多言語演習中国語」（集中講義）

2020年 ↓ 9月25日	(中国語の食文化・気候・社会についての文章の精読などの講義)	対面での授業
	① 中国語での作文執筆	
	28日	(執筆した作文の音読・中国語での会話の練習)
	② オンライン言語交換（蘇州科技大学）	遠隔での言語交換
29日	③ 言語交換・作文の内容を題材にした中国語の講義	対面での授業

図1. 蘇州科技大学とのオンライン言語交換の流れ

9名の履修者

表1. 「発展多言語演習中国語」（2020年度・前学期集中講義）履修者の学習者情報

ID	学年	授業履修歴	学習歴	中国滞在 歴・留学歴	検定試験 受験歴	普段の生活での 使用言語
TU_1	2年	基礎Ⅱ/その他（演習）	18ヵ月	なし	なし	日本語
TU_2	2年	基礎Ⅱ/コミュニケーションⅠⅡ	18ヵ月	なし	なし	日本語
TU_3	2年	基礎ⅠⅡ	12ヵ月	なし	なし	日本語
TU_4	2年	基礎ⅠⅡ	12ヵ月	なし	なし	日本語
TU_5	1年	基礎Ⅰ/コミュニケーションⅠ	6ヵ月	なし	なし	日本語
TU_6	1年	基礎Ⅰ/コミュニケーションⅠ	5ヵ月	なし	なし	日本語
TU_7	1年	基礎Ⅰ/コミュニケーションⅠ	5ヵ月	なし	なし	日本語
TU_8	1年	基礎Ⅰ/コミュニケーションⅠ	4ヵ月	なし	なし	日本語
TU_9	1年	履修歴なし	24ヵ月	84ヵ月	なし	日本語/中国語

1年～1年半
程度

半年程度

2.1. 中国語での作文執筆

テーマ：「自己紹介」

文字数：300～500字程度

ID:JCC5

ID:JCC1

ID: JCC2

[中国語]

我姓○○，叫○○○○。我是○○大学○○○○系二年级的学生。我是日本富山县出生的，是土生土长的富山人。富山有着美丽的自然风光，丰富的自然资源是自然丰富，是非常好的地方。我在大学专攻里的专业是建筑学。设计东西很难，但是很值得做。我将来想设计楼房。我学了一年多汉语，可是还说得不好。汉语的发音很难。我想学好汉语，以后要到中国去中国旅游。我的兴趣是打排球。我从初中生开始学习排球。我那时，每个星期天都会跟朋友们去打排球。除了排球以外，我还喜欢音乐。我从四岁开始学弹钢琴。我喜欢杰尼斯。去了好几次杰尼斯的演唱会。现在因为新型冠状病毒的影响，我不能去听演唱会，我感到很遗憾。.....

作文の内容：

- 大学での専門や専攻
- サークル活動
- 好きな音楽、アニメ、漫画
- 将来の夢

など

文法上の誤り、表現上の誤りを添削して、返却する。

ジャニーズ
杰尼斯

ゼルダの伝説



塞尔达传说

機動戦士ガンダム

机动战士高达

任天堂

任天堂

作文から抽出された語彙

アニメ「血界戦線」の主題歌
动漫《血界战线》的主题歌

K-POP

韩国流行音乐

シュガーソングとビターステップ



甜蜜的歌声和痛苦的一步

コロナウィルス

新型冠状病毒

ペルソナシリーズ



女神异闻录系列

(<http://taichistereo.sblo.jp/article.html>参照)

日本のロック

日本摇滚音乐

些細な文法や表現上の誤りではなく、自分の本当に興味のある話題・相手に伝えたいことを書きたいという情熱が感じられた。

2.2. オンライン言語交換

日本側・中国側の学生同士、1対1での遠隔言語交換



[中国] 蘇州科技大学の学生

[日本] 富山大学の学生

授業で学んだ中国語を積極的に使用する

中国語の上達を目指す

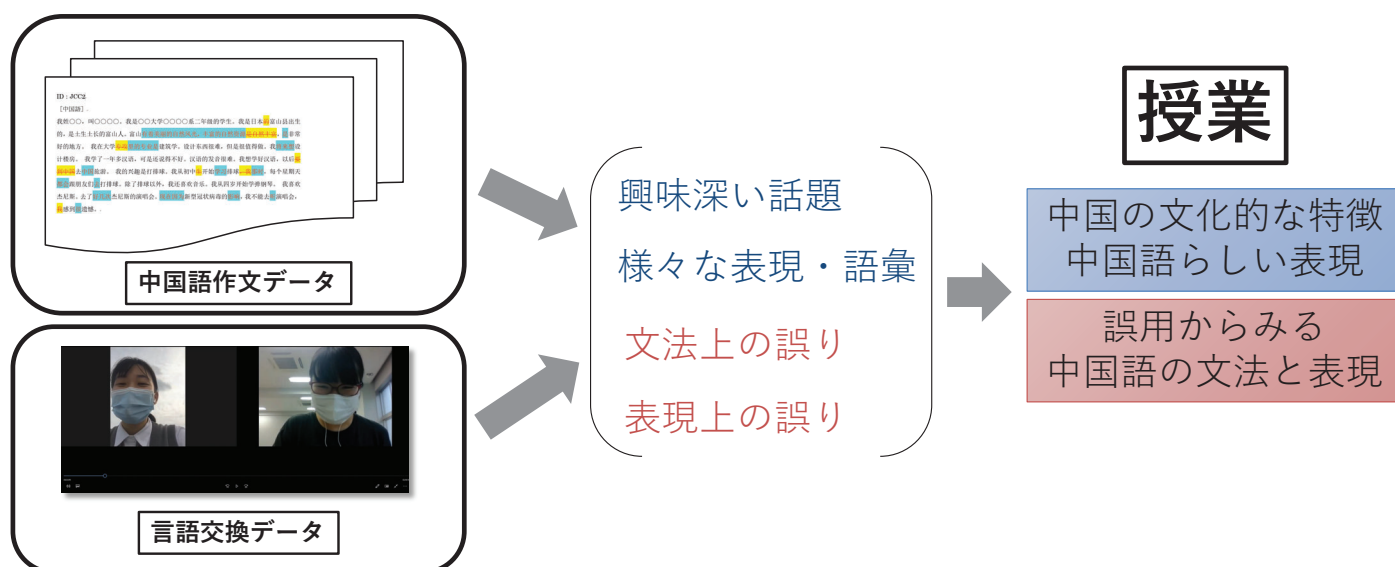
同世代の中国の学生と繋がることで

多様な文化や考え方に触れる

中国や中国語に対する興味・関心を高める

(「同意書」を含め、許可を得て掲載)

2.3. 言語交換・作文の内容を題材にした中国語の講義



自らが作成し、表現した中国語を題材にして、文法や表現の解説を行うことで、より中国語が身近に感じられ、学習意欲が高められる。

様々な「体験」を通じて、

中国語、そして中国語の文法・表現を学ぶ

ご清聴ありがとうございました

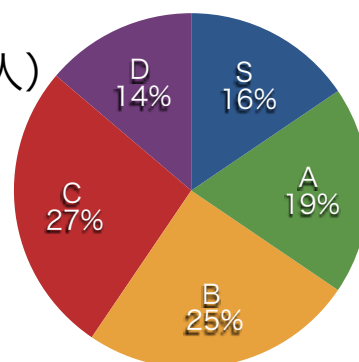
教養教育院FD2020

グッドプラクティス事例紹介 –授業満足度の向上に向けて–

教養教育院 准教授 杉森保

紹介する授業の特徴

- ・ 理系基盤教育系教養**必修**科目「基礎化学ーB」
- ・ 対象学生：薬学部一年次生（約100人）
- ・ 開講時期：一年前期
- ・ 板書中心の講義形式
- ・ 受講生のほとんどは当該科目の基礎を高校で既修



授業評価アンケートの結果

2018年度	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14	Q15
N=105	欠席	授業への積	授業前のシラバス記	聞き取りや	説明のわか	授業進捗が	授業難易度	理解できた	関心の増加	授業外の学	質問の機会	説明補助手	授業に集中	授業満足度	
設問ごと平均値	0.248	3.552	1.657	1.438	4.533	4.362	3.390	3.743	2.790	2.781	1.438	3.752	4.210	4.267	4.419

2019年度	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14	Q15
N=91	欠席	授業への積	授業前のシラバス記	聞き取りや	説明のわか	授業進捗が	授業難易度	理解できた	関心の増加	授業外の学	質問の機会	説明補助手	授業に集中	授業満足度	
設問ごと平均値	0.297	3.780	1.714	1.429	4.110	4.275	3.352	3.747	2.791	2.901	1.330	3.703	4.242	4.165	4.407

授業で意識していること

【内容に関して】

- ・ 必要な内容とレベルを維持しつつ、必要以上に高度なことを教えない。ただし深い質問には丁寧に対応。

授業で意識していること

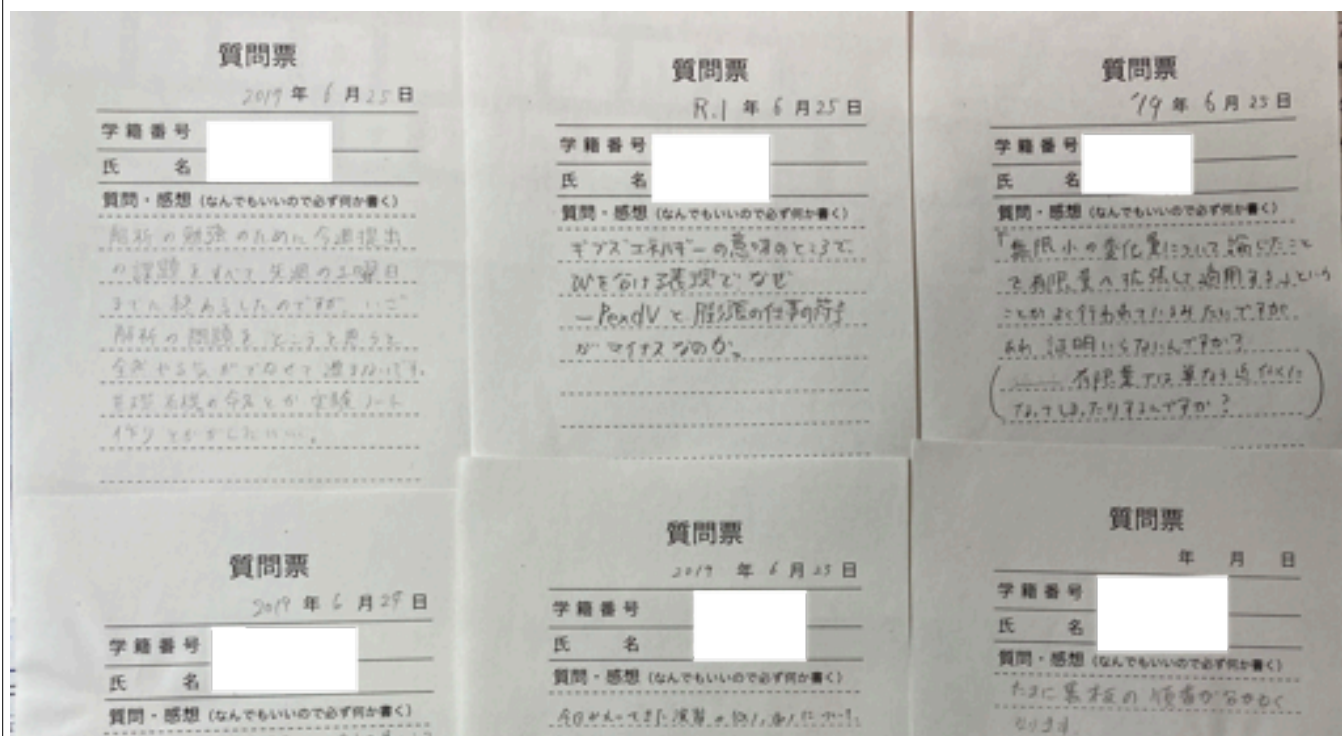
【コメントフィードバック】

- ・毎回疑問点・感想を書かせるか小テストを実施。一覧にまとめて、コメントをつけられるものにはつけてMoodleで公開し、他人がどんな点に疑問を持つかを知ってもらうため共有。

教養教育院FD2020：事例紹介（必修科目を中心に）

教養教育院准教授 杉森保

授業で意識していること



教養教育院FD2020：事例紹介（必修科目を中心に）

教養教育院准教授 杉森保

授業で意識していること

基礎化学 も25のコメントと私の回答

コメント	回答
• 授業中での問題がわからず、	質問がわからない場合は授業が終わらないまで待つように、
• 授業が終わってからも分からない	全体の理解に対する補足説明の授業の動画
• 授業中の質問がわからず、授業中に入場してきて、	教壇に歩いて来るのでお断りしています。教壇の授業に参りたい場合は、確認してきてください
• 授業中の質問がわからず、	質問がわからずの場合は授業中にも質問していただくようにしています
• 授業中から質問がわからず、授業中に入場してきて、	授業中から質問がわからずの場合は、授業中にも質問していただくようにしています
• 授業中から質問がわからず、授業中に入場してきて、	授業中から質問がわからずの場合は、授業中にも質問していただくようにしています
• 授業中から質問がわからず、授業中に入場してきて、	授業中から質問がわからずの場合は、授業中にも質問していただくようにしています
• 授業中から質問がわからず、授業中に入場してきて、	授業中から質問がわからずの場合は、授業中にも質問していただくようにしています
• 授業中から質問がわからず、授業中に入場してきて、	授業中から質問がわからずの場合は、授業中にも質問していただくようにしています
• 授業中から質問がわからず、授業中に入場してきて、	授業中から質問がわからずの場合は、授業中にも質問していただくようにしています

教養教育院FD2020：事例紹介（必修科目を中心に）

教養教育院准教授 杉森保

授業で意識していること

- 信頼関係の構築に重点をおく。特に初期。
- 質問対応を丁寧にする。
- 「前向きな気持ち」を削がない。

教養教育院FD2020：事例紹介（必修科目を中心に）

教養教育院准教授 杉森保

授業評価アンケートの結果

2018年度	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14	Q15
N=105	欠席回数	授業への	授業前の	シラバス	聞き取り	説明のわ	授業進度	授業難易	理解でき	関心の増	授業外の	質問の機	説明補助	授業に集	授業満足
設問ごとと平均値	0.248	3.552	1.657	1.438	4.533	4.362	3.390	3.743	2.790	2.781	1.438	3.752	4.210	4.267	4.419

2019年度	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14	Q15
N=91	欠席回数	授業への	授業前の	シラバス	聞き取り	説明のわ	授業進度	授業難易	理解でき	関心の増	授業外の	質問の機	説明補助	授業に集	授業満足
設問ごとと平均値	0.297	3.780	1.714	1.429	4.110	4.275	3.352	3.747	2.791	2.901	1.330	3.703	4.242	4.165	4.407

教養教育院FD2020：事例紹介（必修科目を中心に）

教養教育院准教授 杉森保

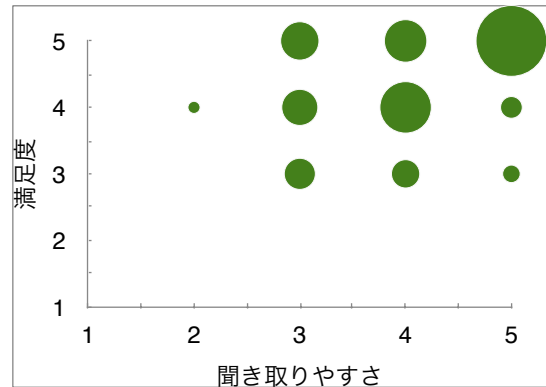
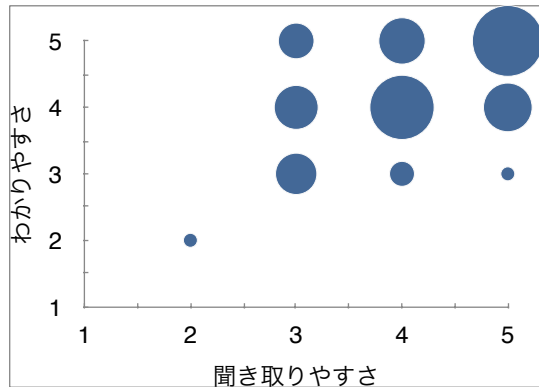
授業評価アンケートの分析

2019年度	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14	Q15	Q16	Q17	Q18	Q19	Q20	Q21	Q22
N=91	欠席回数	授業への積極性	授業前のシラバスの	シラバス記載通りで	聞き取りやすさ	説明のわかりやすさ	授業進度が適正か	授業難易度が適正か	理解できたか	関心の増加	授業外の学習時間	質問の機会	説明補助手段の授業	授業に集中できる環	授業満足度	授業テーマ・科目名	授業の内容が日常生	授業内容の教養とし	職業選択への影響	問題発見・解決に役	他の学生との交流機	課題・レポート量
Q1	1.000																					
Q2	0.152	1.000																				
Q3	0.148	0.174	1.000																			
Q4	0.112	0.117	0.841	1.000																		
Q5	0.091	0.290	0.003	0.003	1.000																	
Q6	0.132	0.256	0.056	0.071	0.466	1.000																
Q7	0.075	0.001	0.043	0.033	0.120	0.084	1.000															
Q8	0.061	0.202	0.016	0.044	0.108	0.256	0.545	1.000														
Q9	0.009	0.232	0.181	0.169	0.021	0.316	0.388	0.541	1.000													
Q10	0.057	0.258	0.202	0.193	0.193	0.314	0.216	0.281	0.409	1.000												
Q11	0.113	0.230	0.154	0.142	0.305	0.177	0.307	0.184	0.004	0.201	1.000											
Q12	0.063	0.117	0.028	0.012	0.279	0.328	0.023	0.072	0.064	0.011	0.134	1.000										
Q13	0.033	0.279	0.020	0.049	0.345	0.484	0.056	0.057	0.126	0.281	0.106	0.318	1.000									
Q14	0.030	0.431	0.087	0.076	0.307	0.420	0.022	0.072	0.240	0.187	0.105	0.302	0.502	1.000								
Q15	0.082	0.231	0.146	0.069	0.387	0.579	0.031	0.234	0.356	0.275	0.010	0.315	0.465	0.464	1.000							
Q16	0.037	0.200	0.104	0.089	0.221	0.368	0.003	0.176	0.243	0.565	0.019	0.098	0.231	0.331	0.544	1.000						
Q17	0.081	0.064	0.128	0.173	0.168	0.202	0.098	0.215	0.201	0.325	0.008	0.175	0.036	0.148	0.232	0.549	1.000					
Q18	0.078	0.079	0.235	0.209	0.119	0.195	0.094	0.162	0.149	0.344	0.092	0.099	0.101	0.178	0.334	0.666	0.680	1.000				
Q19	0.049	0.020	0.059	0.040	0.198	0.016	0.049	0.082	0.081	0.145	0.026	0.021	0.021	0.092	0.124	0.361	0.530	0.426	1.000			
Q20	0.051	0.066	0.132	0.112	0.107	0.125	0.126	0.025	0.161	0.143	0.107	0.130	0.044	0.145	0.248	0.451	0.591	0.581	0.301	1.000		
Q21	0.110	0.019	0.190	0.146	0.043	0.022	0.025	0.129	0.116	0.245	0.157	0.024	0.053	0.013	0.070	0.155	0.157	0.095	0.198	0.238	1.000	
Q22	0.076	0.057	0.053	0.024	0.013	0.086	0.056	0.111	0.224	0.172	0.278	0.140	0.107	0.103	0.047	0.147	0.061	0.083	0.282	0.262	0.463	1.000
設問ごとと平均値	0.297	3.780	1.714	1.429	4.110	4.275	3.352	3.747	2.791	2.901	1.330	3.703	4.242	4.165	4.407	3.692	3.066	3.341	2.901	3.440	2.154	2.297

教養教育院FD2020：事例紹介（必修科目を中心に）

教養教育院准教授 杉森保

授業評価アンケートの分析



授業評価アンケートの分析

- ・「満足度」との関連が高そうな項目

わかりやすさ、補助手段、授業環境

- ・「わかりやすさ」との関連が高そうな項目

聞き取りやすさ

授業で意識していること

- 学生の要望をきく姿勢をみせる、可能な範囲で実際に応える（板書、音声、環境）
- 黒板の使い方（左右の端、下の端）

特に重要だと考えている点

- 信頼関係の構築：改善の要望やアンケートへの回答が得られやすくなり、さらなる改善に繋がる
- 評価基準の公平性とわかりやすさ

事例紹介

「化学物質の世界」の
講義で工夫したこと

富山大学 研究推進機構

水素同位体科学研究センター

萩原 英久

「化学物質の世界」の概要

1

授業科目区分：教養教育科目 自然科学系

開講学期：2019年度 後期（火曜1限）

対象学年：1～4年

私たちの身の回りにはあるものは全て化学物質で出来ている。（中略）現在の文明は多くの人為的に作られた化学物質によって支えられている。

この授業のねらいは、化学物質と人類の関わりについて基礎的な化学の知識を元に考えることで、化学の目で問題を見る素養を身につけることである。

- 基本的にはPowerPointのスライドを使用

- 受講生の把握
- 授業内容
- 説明補助手段とレポート

「化学物質の世界」の授業計画

第01回	ガイダンス
第02回	全ての始まり
第03回	原子と分子の世界
第04回	地球の大気
第05回	地球の地殻
第06回	地球の川と海
第07回	分子と生命
第08回	食物と薬
第09回	化学工業-有機系-
第10回	化学工業-無機系-
第11回	利潤につながる化学
第12回	核化学と放射線
第13回	原子をつなぐ力-化学結合-
第14回	エネルギーと化学
第15回	化学反応

1. 自己紹介
2. 講義で何を知って欲しいのか
3. 講義の内容について
4. 成績の評価方法
5. レポートの書き方と採点基準

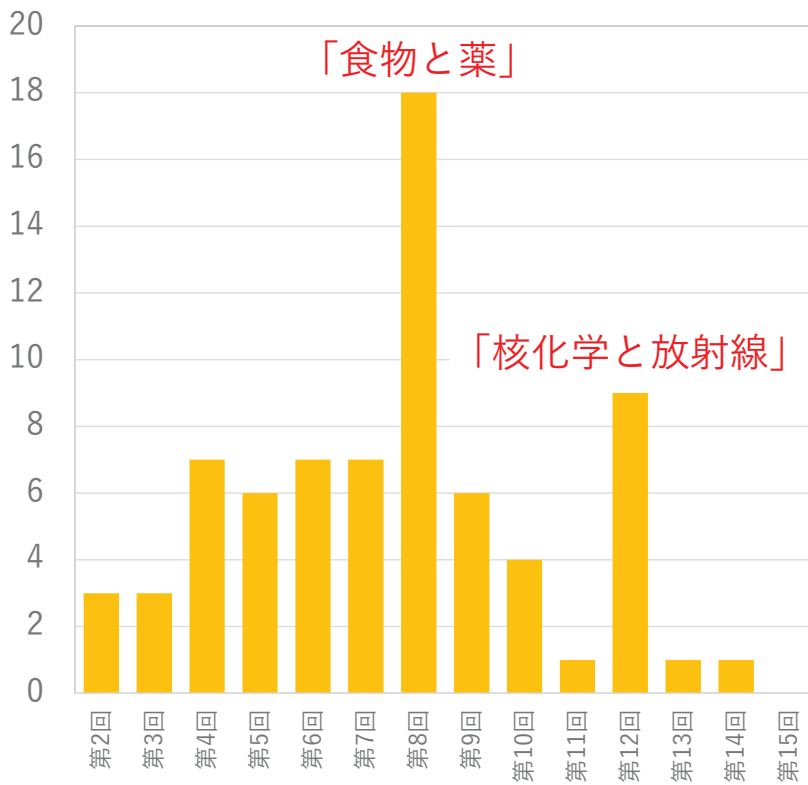


第1回の講義の最後にアンケート
 ・どの講義に興味があるか
 ・この講義を取った理由

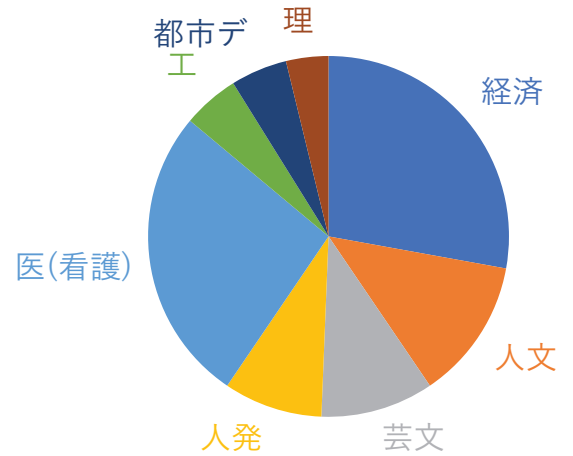


アンケートの結果から受講生が
 何に興味を持っているか把握し、
 講義内容に盛り込む

興味がある講義



受講生の所属学部



受講生の3割が医学部看護の学生



「薬」「放射線による健康被害」などに興味？

アンケート結果分析②

この講義を選んだ理由 (複数回答可)



大半の受講生が高校で化学を取っていない or 基礎化学のみ



丁寧な説明を心掛ける、専門用語を極力使わない

講義に対する要望

- ・ビッグバンについて詳しく教えて欲しい ⇒ 第02回
- ・食品添加物の危険性が知りたい ⇒ 第08回
- ・化学が社会にもたらす恩恵と弊害について教えて欲しい ⇒ 第11回
- ・原発事故の話をして欲しい ⇒ 第12回
- ・食べ合わせの悪い食べ物を化学の観点から説明して欲しい
- ・染料について話が聞きたい

可能な限り要望に応え、講義内容に含めていく

アンケート結果から...

理系（医(看護)・理・工・都市デ）の学生は自分の専門分野に関連する話が聞きたい

文系（経済・人文・人発・芸文）の学生は幅広く化学の話が聞きたい

授業内容について

- 第01回 ガイダンス
- 第02回 全ての始まり
- 第03回 原子と分子の世界
- 第04回 地球の大気
- 第05回 地球の地殻
- 第06回 地球の川と海
- 第07回 分子と生命
- 第08回 食物と薬
- 第09回 化学工業-有機系-
- 第10回 化学工業-無機系-
- 第11回 利潤につながる化学
- 第12回 核化学と放射線
- 第13回 原子をつなぐ力
- 第14回 エネルギーと化学
- 第15回 化学反応

● 1回の講義で1トピック

- ・続き物だと1回休むとついてこれなくなる(?)
- ・レポートを書くときに資料を見返しやすい

● 旬の時事ネタを挟む

「聞いたことはあるけど説明はできない」くらいの身近な内容がベスト

● 説明補助手段

講義スライドをMoodleにアップロード ⇒ 印刷して持参

- ・ 分からないことは事前に調べておいて欲しい
- ・ 講義中は話を聞くことに集中して欲しい

● レポート

計7回のレポート（A4に1~2枚程度）で講義内容について考察を深めてもらう

本講義の学習サイクル（理想）

Moodle上の講義資料をダウンロードして予習



講義を聞いて内容を理解



レポート作成で理解を深める

まとめ

● 受講生の把握

⇒ アンケートの結果で講義内容や難易度を調整

● 授業内容

⇒ 1回の講義につき1トピック

⇒ 適度なレベルの時事ネタを挟む

● 説明補助手段とレポート

⇒ 講義スライドを Moodleに上げて予習を推奨

⇒ レポートまで含めた反復学習で理解を深める

授業で工夫している点について

学術研究部医学系
行動科学
教授 堀 悦郎

対象授業科目

医療・健康科学系 選択科目「脳科学入門」

開講時期：後学期 火曜3限

受講学生数：200名程度

受講学生所属：人文，人発，理，工，医，薬，
芸文，都市デ

講義形式：パワーポイントによる授業のみ

授業評価アンケート結果（抜粋）

	2018年	2019年
受講者数	194（回答者116）	186（回答者130）
総合満足度	4.0/3.8 評定値/平均値	4.1/3.8
聞き取りやすさ	4.3/3.9	4.3/3.9
分かりやすさ	4.1/3.7	4.2/3.8
難易度	3.5/3.2	3.5/3.3
全体理解	2.8/3.0	2.9/3.0
質疑応答・意見交換	2.8/3.1	2.1/2.8
課題やレポート指導	2.9/3.1	2.2/3.0

難しい、全体理解しにくい、意見交換なし、レポート指導なし
分かりやすさ、聞き取りやすさによって総合満足度が上昇か？

授業で工夫している点について

1. 分かりやすい授業のポイント
2. 聞き取りやすい授業のポイント

授業で工夫している点について

1. 分かりやすい授業のポイント
2. 聞き取りやすい授業のポイント

分かりやすい授業のポイント

分かりやすさ、聞き取りやすさによって総合満足度が上昇か？

- ✓1トピックは30分程度
- ✓難しい図を分かりやすい言葉で
- ✓時事問題と絡めて

1トピックは30分程度

90分 = 30分×3トピック



今日のトピック

1. 「好き」と「嫌い」に関与する脳部位
～報酬系と嫌悪系～
2. 生物学的な価値判断を行う扁桃体
3. 複雑な感情の神経機構 社会神経科学

例) 「好きと嫌いの機能局在」 (脳科学入門)

分かりやすい授業のポイント

分かりやすさ、聞き取りやすさによって総合満足度が上昇か？

- ✓1トピックは30分程度
- ✓難しい図を分かりやすい言葉で
- ✓時事問題と絡めて

分かりやすい授業のポイント

分かりやすさ、聞き取りやすさによって総合満足度が上昇か？

- ✓1トピックは30分程度
- ✓難しい図を分かりやすい言葉で
- ✓時事問題と絡めて

時事問題と絡めて

- ✓ ホットな話題
- ✓ 新しい話題
- ✓ 身近な話題
- ✓ 興味関心の高い話題

分かりやすい授業のポイント

分かりやすさ、聞き取りやすさによって総合満足度が上昇か？

- ✓ 1トピックは30分程度
- ✓ 難しい図を分かりやすい言葉で
- ✓ 時事問題と絡めて

授業で工夫している点について

1. 分かりやすい授業のポイント
2. 聞き取りやすい授業のポイント

聞き取りやすい授業のポイント

分かりやすさ、聞き取りやすさによって総合満足度が上昇か？

- ✓活舌良く話す
- ✓学生の目を見て話す
- ✓緩急強弱をつけて話す

聞き取りやすい授業のポイント

分かりやすさ、聞き取りやすさによって総合満足度が上昇か？

- ✓活舌良く話す
- ✓学生目を見て話す
- ✓緩急強弱をつけて話す



聞き取りやすい授業のポイント

分かりやすさ、聞き取りやすさによって総合満足度が上昇か？

- ✓活舌良く話す
- ✓学生目を見て話す
- ✓緩急強弱をつけて話す



聞き取りやすい授業のポイント

分かりやすさ、聞き取りやすさによって総合満足度が上昇か？

- ✓活舌良く話す
- ✓学生の目を見て話す
- ✓緩急強弱をつけて話す



聞き取りやすい授業のポイント

分かりやすさ、聞き取りやすさによって総合満足度が上昇か？

- ✓活舌良く話す
- ✓学生の目を見て話す
- ✓緩急強弱をつけて話す

授業評価アンケート結果（抜粋）

	2018年	2019年
受講者数	194（回答者116）	186（回答者130）
総合満足度	4.0/3.8 <small>評定値/平均値</small>	4.1/3.8
聞き取りやすさ	4.3/3.9	4.3/3.9
分かりやすさ	4.1/3.7	4.2/3.8
難易度	3.5/3.2	3.5/3.3
全体理解	2.8/3.0	2.9/3.0
質疑応答・意見交換	2.8/3.1	2.1/2.8
課題やレポート指導	2.9/3.1	2.2/3.0

総合満足度だけでなく、何か評価の高い部分があれば良いのでは？

教養教育院FD2020

工学部
生命工学コース
高崎一朗



はじめに

私などよりももっと上手に講義をされている先生はたくさんいらっしゃると思います。

今からお話しする内容は、おそらく皆さんが常に心がけていることかと思いますが、あまり参考にならないかと思います。

講義内容や講義方法は、対象とする学生によって異なるかと思います。

あくまでも私個人の意見，感想，講義形態，講義内容としての一例を紹介させていただくにとどめます。

担当講義について

(教養教育科目 自然科学系)

生命の世界

2016年度 後期

対象：人文，経済，人発，その他
主として1年 約220名

2018年度 前期

対象：人文，経済，人発，その他
主として1年 約150名

(工学部) 遺伝子工学, 薬理学 I および II

ちなみに…，工学部では，5年連続ザ・ティーチャー（後輩に勧めたい講義をする教員，わかりやすい講義をする教員など）に選出

生命の世界

(教養教育科目 自然科学系)

授業のねらい

私たちの身近にある「**薬**」。私たちの体内に入った薬は，どのように作用して病気を治癒・予防するのでしょうか？なぜ大量の薬は「毒（副作用）」になるのでしょうか？この授業では，私たちの**身近にある薬**が，どのような作用メカニズムで病気の治癒につながるのか，薬が効くしくみについて講義します。

達成目標

1. 薬の作用点が理解できる
2. 薬が効くメカニズムについて説明できる
3. 副作用が起こるメカニズムについて説明できる

いわゆる“薬理学”

なぜ教養科目で“薬理学”を 教えようと思ったか？

1. 自分自身，薬学部（薬理学研究室）出身
2. 工学部でも薬理学を教えていて，慣れている

3. 薬というのは身近に存在する
(誰も一度は服用したことがあるはず)

↓

しかし，どのように効くのか意識しながら
服用したことはほとんどないはず

(おそらく作用メカニズムは知らないはず)

↓

知らなかったことを知り，身につけられれば
心が豊かになるはず (= 教養の意義)

なぜ教養科目で“薬理学”を 教えようと思ったか？



富山といえば“くすり”

身近にある“薬”と“薬理学”

例えば・・・

風邪をひいて熱が出て
風邪薬を服用する



なぜ熱が下がるのか？

風邪薬に含まれる解熱鎮痛薬の
作用メカニズムについて説明

アスピリン

アセトアミノフェン

そもそもなぜ熱が出るのか？
くしゃみ、鼻水が出る原因は？

例えば・・・

勉強のし過ぎで目が疲れる
(本当はスマホの見過ぎ)



薬局で売っている目薬をさす

なぜ近くのものが見えなくなるのか？

なぜ充血が除けるのか？

フィゾスチグミン

テトラヒドロゾリン

身近にある薬（名前は知っている、あるいは聞いたこともない）について
知らなかったこと（効くメカニズム）が分かれば、**ワクワクする**、
自分が服用した薬やドラッグストアで売っている身近な薬を自分で調べてたくなる、**他人に話したくなる**（本講義の最大の目的）

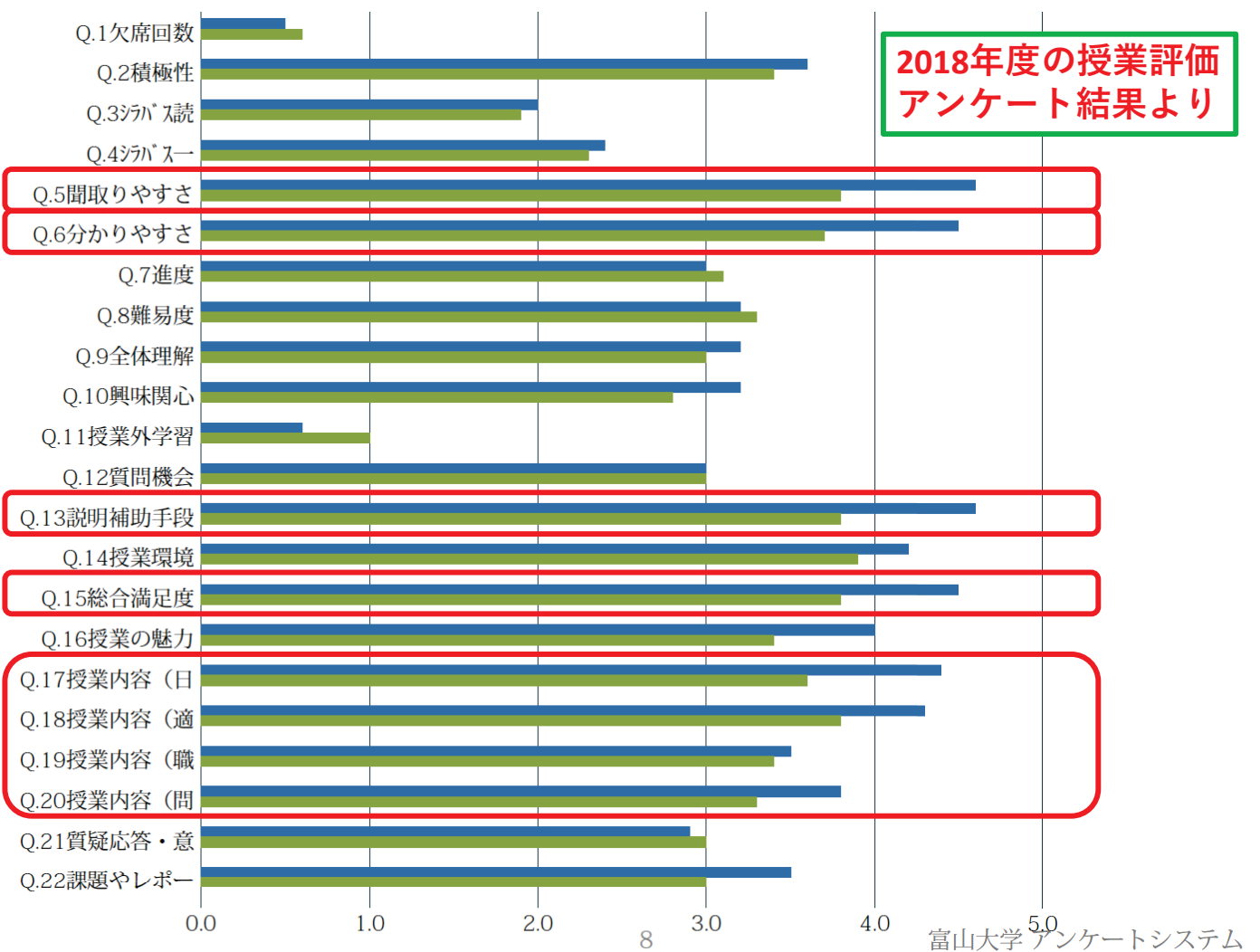
生命の世界(シラバス)

1. イントロダクション, この講義のねらい
2. 薬とは？
3. 薬の運命と作用の仕方
4. 薬の作用点 - 受容体
5. 交感神経と副交感神経
6. 高血圧の薬
7. 咳薬①
8. 咳薬②
9. 目薬
10. 胃薬
11. 糖尿病の薬
12. 花粉症の薬
13. 抗インフルエンザ薬
14. 抗がん薬
15. 総合討論, まとめ

序盤でしっかり
基礎を叩きこむ
(後の理解のため)

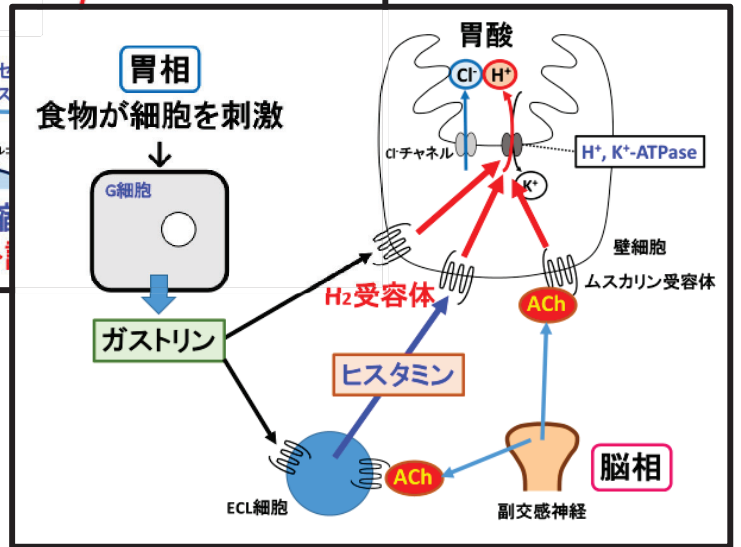
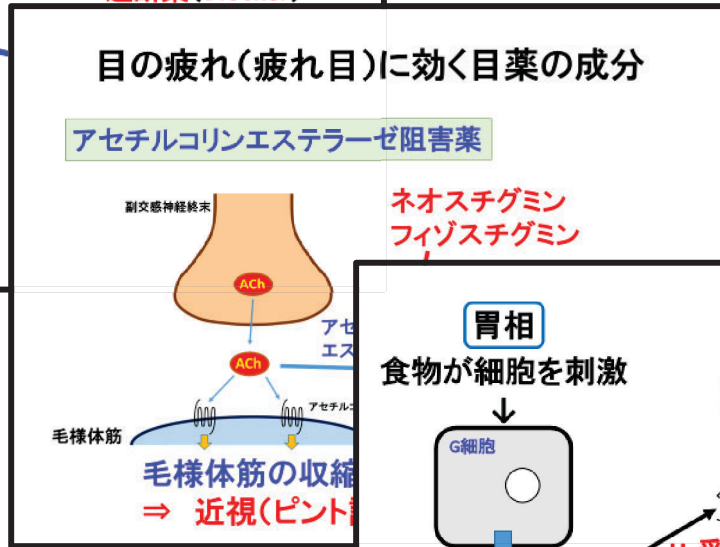
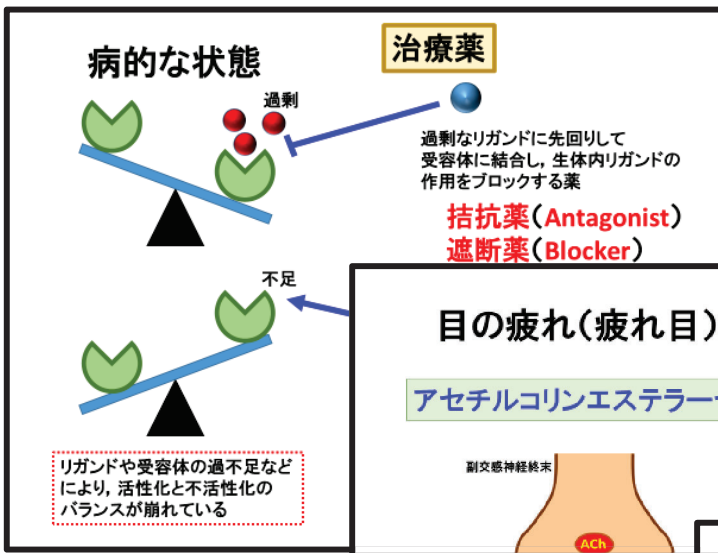
身近な薬（服用した
ことがあるであろう、
家族が服用している、
あるいは将来服用す
る可能性のある薬）
を紹介

2018年度の授業評価
アンケート結果より

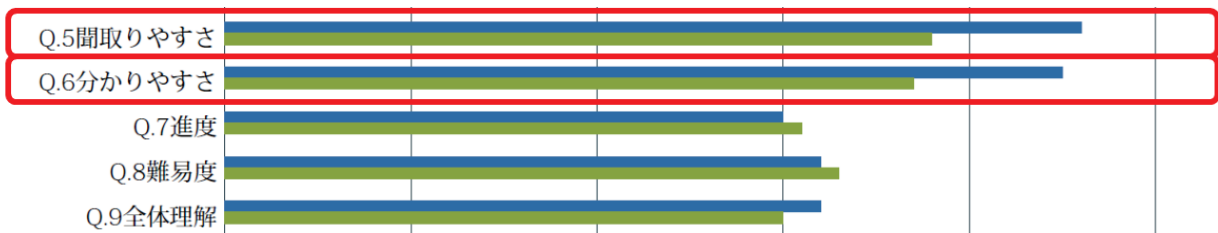


教養科目で“薬理学”を教える にあたって心がけたこと

1. 対象が主に文系の学生（主に1年）であることから、
かみ砕いて分かりやすく、丁寧にゆっくりと説明。
2. “身近な薬”を意識
3. 専門用語は極力使わず、使う場合には丁寧に説明。
4. 一般市民や高校生に教えるようなつもりで講義
（実際には呉羽高校の2年生も受講していたので）
5. スライド：文字数は少なくし、視覚で理解できるよう
図を多く含むよう心掛けた。



教養科目で“薬理学”を教える にあたって心がけたこと



聞き取りやすさ, 分かりやすさの向上
 進度, 難易度, 全体理解は適度に
 (あくまでも自己分析)

教養科目で“薬理学”を教える にあたって工夫したこと

学生を飽きさせないための工夫①

メリハリのある講義内容

序盤はかみ砕いて説明

おっ、聞いたことがある！

↓

少しだけ専門的な話

あれっ、難しい!?

↓

実は身近に存在する薬

へーそうなんだ！

↓

(余談, **小ネタ**, 時事ネタなど)

教養科目で“薬理学”を教える にあたって工夫したこと

学生を飽きさせないための工夫②

スライドの工夫と板書

スライドをただ映して説明するだけでは飽きる

(と思う)

↓

配布資料 (レジュメ) は穴あきにし、スライドを
見て埋めさせる

+

大事なところは板書

学生の視点を、黒板、スライド、
ノート、プリントと動かし、
常に頭と手を動かしてもらう。

配布しているプリント

映写しているスライド

抗ヒスタミン薬の副作用①

第一世代の抗ヒスタミン薬
(クロルフェニラミン、ジフェンヒドラミンなど)

作用
(アセチルコリンのはたらきをブロックする)

アセチルコリンは唾液腺において
唾液分泌促進作用を示す
(副交感神経の作用)
抗ヒスタミン薬の抗コリン作用に
よって、唾液の分泌が抑制されて
しまう

副作用: **口渇** (のどが渇く)

抗ヒスタミン薬の副作用①

第一世代の抗ヒスタミン薬
(クロルフェニラミン、ジフェンヒドラミンなど)

抗コリン作用
(アセチルコリンのはたらきをブロックする)

アセチルコリンは唾液腺において
唾液分泌促進作用を示す
(副交感神経の作用)
抗ヒスタミン薬の抗コリン作用に
よって、唾液の分泌が抑制されて
しまう

副作用: **口渇** (のどが渇く)

板書の例

血管内皮

血管平滑筋

交感

瞳孔括約筋 収縮 → 縮瞳

毛様体筋 収縮 → 調節

文字は大きく
ここでも図示し
視覚で訴える
写真撮影OK
(※工学部での講義例)

講義全般において心がけていること

そもそも講義することは嫌いではない

大学生時代、まったく面白くなかった教養の講義を受けていた（ほとんどサボっていました...すみません...）経験から、少しでも学生のためになる講義をしたいと思い、常に“おもしろい授業”をすることを心掛けている。



ちなみに…，工学部では，5年連続ザ・ティーチャー（後輩に勧めたい講義をする教員，わかりやすい講義をする教員など）に選出

おまけ

自分自身をさらけ出すことも大事??

（念入りな自己紹介）

- 学生の心をつかむ（？）
学生の警戒心（？）をなくす
教員を身近に感じることができる？

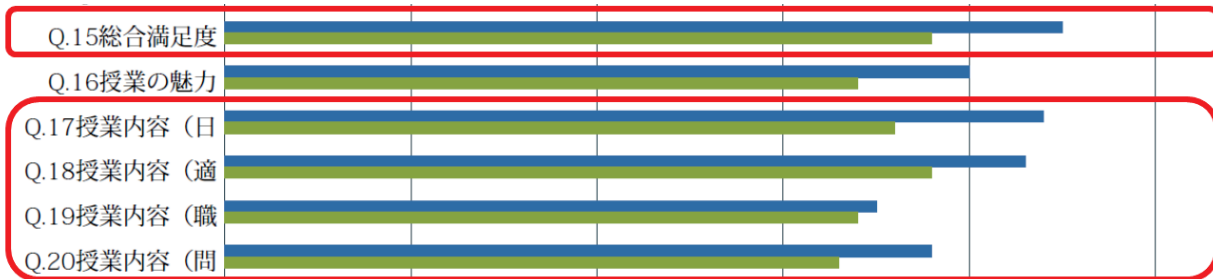
例えば，趣味や特技，大学時代の自分といった過去のエピソードなどを（念入りに）紹介



授業評価の向上に繋がった？

まとめ

1. 対象学生が**興味を持つような内容**にした
→ 授業内容の評価につながった？
2. それを**かみ砕いて説明した** (ときどき余談を入れ)
3. スライド (穴埋め) と板書を駆使して
なるべく**視覚で理解できる工夫**をした
→ 総合満足度の評価につながった？
+ おもしろい授業をしようという気持ち



とりとめない話で大変申し訳ありません

ご清聴ありがとうございました

工学部
生命工学コース
高崎一郎



グッドプラクティス事例紹介

—授業満足度の向上に向けて—

2020/12/16

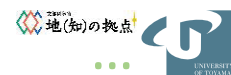
地域連携戦略室

金岡 省吾
塩見 一三男
尾山 真



1

教養教育における地域連携戦略室の担当授業



- 「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」により新設された科目を中心に担当・サポート。
教養教育では「地域ライフプラン」「産業観光学」「富山の地域づくり」「富山のものづくり概論」を担当

■履修者数

科目名	R1年度			R2年度		
	前期	夏季集中	後期	前期	夏季集中	後期
地域ライフプラン	153人	40人	110人	141人	60人	
産業観光学		59人				135人
富山の地域づくり			190人	105人		
富山のものづくり概論			118人			123人
延べ人数			670人			564人

2

・人材育成像の作成

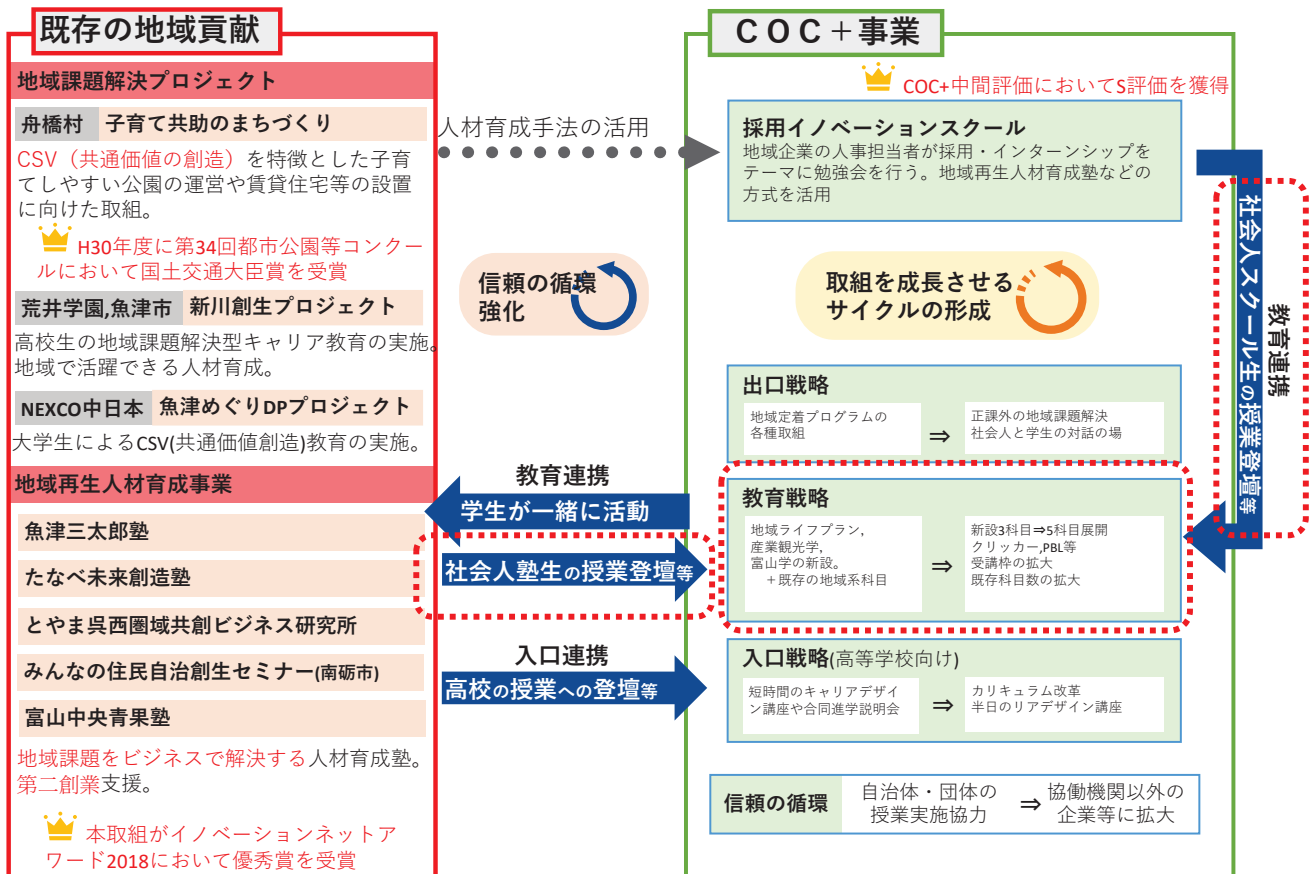
- ・ ゲストスピーカーの人脈づくり
- ・ レポートへのフィードバック
- ・ クリッカーの導入
- ・ 大人数授業へPBL導入
- ・ 学生からゲストスピーカーへの質問と回答
- ・ 学生からのリクエスト対応
- ・ 継続的な数値分析

未来の地域リーダー：育成人材像（令和2年6月版）



- 人材育成像の作成
- **ゲストスピーカーの人脈づくり**
- レポートへのフィードバック
- クリッカーの導入
- 大人数授業へPBL導入
- 学生からゲストスピーカーへの質問と回答
- 学生からのリクエスト対応
- 継続的な数値分析

地域連携事業・COC+事業出口戦略と教育の連携



地域再生人材育成塾 (地域)

地域再生人材育成塾の支援

地域再生人材による講義

ALL富山COC+ (富山大学)

支援プログラムの独自性

富山大学が自治体と共催し、地域の若手企業経営者等が地域資源を活用しながら地域課題をビジネスでの解決を考え、広義の第2創業として国上形成計画に採択されたCSV、コミュニティビジネスの稼働を支援する。

魚津三太郎塾	たがおか共創ビジネス研究所	たなべ未来創産塾
48人(H23~5期)	27人(H26~3期)	12人(H28~1期)
卒業化 28人(58.3%)	卒業化 18人(66%)	卒業化 9人(75.0%)

修了書授与するだけでなく！ 地方創生が実際に動き出す

7

これまでの授業改善概要

- 人材育成像の作成
- ゲストスピーカーの人脈づくり
- **レポートへのフィードバック**
- クリッカーの導入
- 大人数授業へPBL導入
- 学生からゲストスピーカーへの質問と回答
- 学生からのリクエスト対応
- 継続的な数値分析

前回の講義のまとめ（家印株式会社 坂東様）

経緯

- ・大学まで柔道 ⇒ ケガで引退 ⇒ 建築の夢
- ・2006年に建築設計室設立 ⇒ 仕事が成り立たない ⇒ 挫折
- ・自宅前の空き家をDIYリノベ ⇒ 2015年に家印株式会社設立

空き家リノベ

- ・築70年自宅前の空き家 ⇒ 事務所，地域交流の場，シェアハウス
- ・築65年空き家 ⇒ 地元の人，移住者がボランティアで改築 ⇒ ハーブと喫茶「HYGGE」
⇒ コンサートなど各種イベント開催

波及効果

- ・夢を語る人が増加 ⇒ みんなで応援 ⇒ 実現（連鎖）
- ・イベント開催が増加，移住者が増加 ⇒ 楽しい暮らし
- ・朝日町再生委員会定住・交流チーム
- ・アサヒリノベリア
- ・朝日町空き家再生プロジェクト（民間団体）
- ・「こすぎ家」，お試し住宅，スイーツ屋，パン屋，蕎麦屋，リノベ道場など
- ・藤野英人さんとのコラボ
- ・会社の知名度・信頼度の向上，元請け化，家族への恩返し

前回のレポートのまとめ（～H30年度）

前回のみんなのアイデア（空き家の活用）

地域外の人へ

- ・ホテルのような宿泊施設 ⇒ 民泊（インバウンド），二地域居住者に提供
- ・観光案内所，道の駅
- ・公民館（移住者用）

地域内外の人へ

- ・事務所（起業），社宅
- ・古民家家具，地元材家具の展示販売
- ・昔と今を比べられる写真館（記念館？）
- ・シェアハウス
- ・DIYできる借家
- ・学生と社会人との交流の場
- ・アトリエ（陶芸家向けなど），芸術系のギャラリー，小劇場
- ・カフェ（猫カフェ・メイド喫茶）
- ・発表会会場，ライブハウス（蔵）

地域の人へ

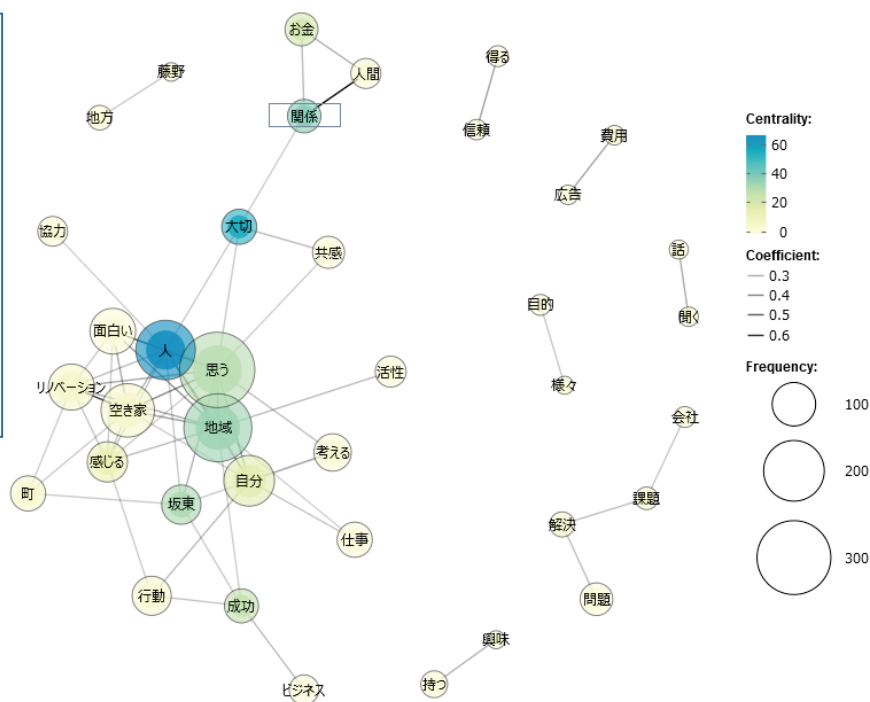
- ・空き家を合わせて複合住宅
- ・ファーストフード（学校帰りの寄り道）
- ・古本屋，図書館，学習塾，学習スペース
- ・子育て支援センター，子どもの遊び場
- ・グラフィティアート（壁にお絵描き）
- ・保育所
- ・助産院
- ・公民館（地域交流，食事，悩み相談）
- ・飲食店（有名チェーン店など）
- ・古民家コンビニ
- ・複合施設（映画上映，運動できる場所）
- ・料理教室
- ・ジム，ボルダリング，スポーツ観戦施設
- ・フリースペース（行政と相談が必要）
- ・防災倉庫
- ・セレクトショップ

抽出語・共起ネットワーク

前回講義のねらい

人口減少から生ずる地域課題は、捉え方次第では、ビジネスチャンスになることを理解する。

「空き家リノベーション」の仕事を理解するとともに、履修者の何人かに「面白い」と感じてもらう。



カラー：中心性（媒介） 調整 N 38, E 60, D .085

11

レポートフィードバック (R1年度～)

特徴的なコメント

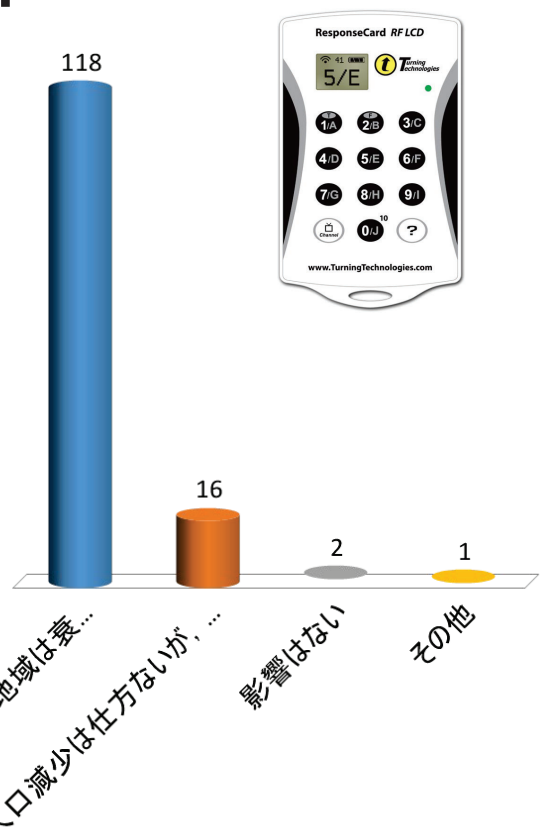
- 空き家はそのまましておけば、印象はあまり良くないかもしれないが、リフォームすればビジネスチャンスになると考えるととても面白い。空き家以外にも地域活性化問題となっていることに対して何かできないか、どうすればいいか目的を持って行動することの大切さを改めて実感した。
- 地域を活性化させるのはボランティアのような面が大きく感じるが、坂東さんはビジネスとして成功させているので素晴らしいと感じた。
- 空き家をリノベーションするだけでなく、そこをシェアハウスにしたり、カフェにしたりして、地域の人との関りを密接にすることによって、地域の人からの信頼を得て、大きな企業にしていたのがすごいと思った。
- 事前に調べた段階では、耐震や築年数のことから新築で建てた方が安く仕上がるのではないかと考えていましたが、地域によっては業者を呼ぶだけでも莫大な費用がかかること、リノベーションとして地域内で行えばそれらを削減でき、なおかつ地域の利益とすることもできる。
- 家印では朝日町と入善町の職人さん・素材でリノベーションを行い地域の経済も活性化させることで活動を地域の人に活動への理解を深めることができ、地域の人に協力してもらえるとこれはよいサイクルだと思うので、射水市はどれくらい地元だけで賄えるのかが気になりました。
- 私も将来、空き家を有効活用して地域活性化し、少子高齢化の問題解決に取り組んでいきたいと考えているため、今回の坂東さんの空き家を実際に利用する際の苦労ややりがいのお話を聞いて、とても将来を考えるうえで勉強になりました。
- 現代の風潮でテレワークが普及し盛んになれば、朝日町に仕事がないという問題を解決できる。そうなれば、空き家リノベーションで地域を活性化することにより、転入者を増やせ、人口減少の問題も解決につながる。よって地域の課題をクリアしつつ利益も望める空き家リノベーションは将来性があり、とても面白い仕事だと思った。

12

- 人材育成像の作成
- ゲストスピーカーの人脈づくり
- レポートへのフィードバック
- **クリッカーの導入**
- 大人数授業へPBL導入
- 学生からゲストスピーカーへの質問と回答
- 学生からのリクエスト対応
- 継続的な数値分析

人口減少は，地域にどのような影響を及ぼすと思いますか？



1. 人口減少により地域は衰退する
2. 人口減少は仕方ないが，地域は生き残ることができる
3. 影響はない
4. その他



- 人材育成像の作成
- ゲストスピーカーの人脈づくり
- レポートへのフィードバック
- クリッカーの導入
- **大人数授業へPBL導入**
- 学生からゲストスピーカーへの質問と回答
- 学生からのリクエスト対応
- 継続的な数値分析

15

各回の基本的な流れ

時間	内容
10分	開始, 振り返り, 出席確認
45分	講義 ※質問ワークあり 
30分	個人ワーク グループワーク 発表 
5分	講師まとめ, 次回案内・終了

16

- 人材育成像の作成
- ゲストスピーカーの人脈づくり
- レポートへのフィードバック
- クリッカーの導入
- 大人数授業へPBL導入
- **学生からゲストスピーカーへの質問と回答**
- 学生からのリクエスト対応
- 継続的な数値分析

17

学生の質問と、ゲストスピーカーの回答例

地域ライフプラン（2017年度前学期） 第4回（舟橋村）

Q. 転出率の高い18～22歳の年齢層に対しての対策は何かあるのか。

A. ご質問ありがとうございます。現在、舟橋村では進学・就職・結婚を機に転出される方の割合が高くなっています（ただし、人口総数が少ないため、他の市町村に比べて異動実数が率に反映されやすいという傾向はあります）。

ご質問のありました転出率の高い層への対策ですが、この世代は大学進学を機に県外へ転出される方の異動が反映されたものと考えられます。こうした方々は、ご自身の進路選択や目的意識のもと転出される方が多いと考えられますので、異動を抑えるのは困難と考えます。県内の大学等への進学率を高めること（県内大学等の魅力向上への寄与）や、もし一時的に転出されたとしても、卒業後に帰ってきていただくこと、そのために幼少期から地域への愛着形成を図るとともに、仕事・企業の魅力を含めた地域の魅力を高める事業を推進していきたいと思っております。

18

- 人材育成像の作成
- ゲストスピーカーの人脈づくり
- レポートへのフィードバック
- クリッカーの導入
- 大人数授業へPBL導入
- 学生からゲストスピーカーへの質問と回答
- **学生からのリクエスト対応**
- 継続的な数値分析

前回のみんなの感想

授業の枠組み

- 事業案は簡単に出るものではない
- 課題が抽象的で答えづらい
(例や課題の説明がほしい)
- グループワークが2人だったので盛り上がらなかった
- 学生証による出席確認はクリッカーでやっているのだから不要
- 授業終了前の片付けは失礼だが、急がなければならない人もいないのではないか
- ちゃんと6時に終わってほしい
- 事前学習の成果を示すキーワードを書く日と書かない日があるのか

その他

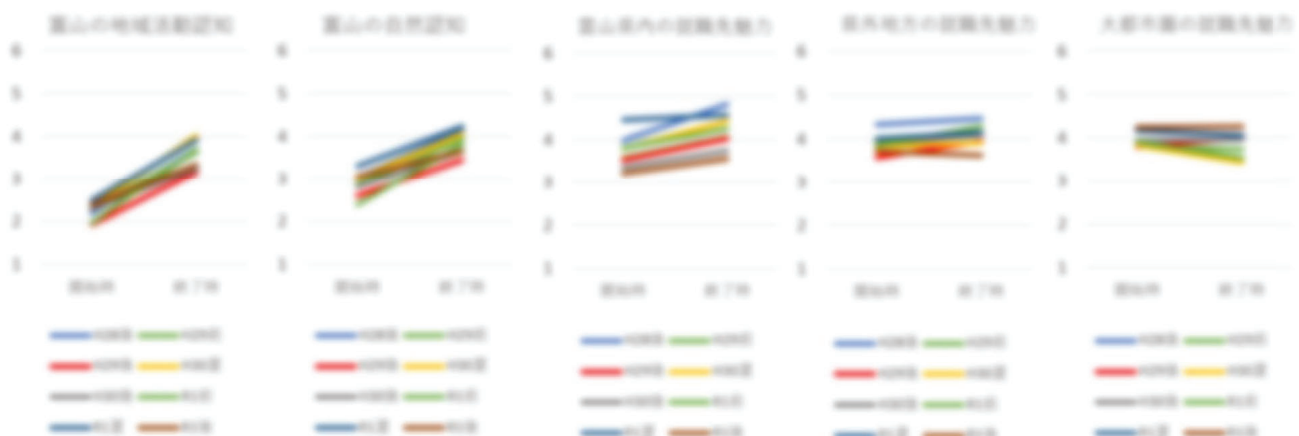
- 寝ている人は起こすべきですか？
- 授業中にスマホ触る人が多すぎ
- 福祉短大の発表の音が小さかった

- 人材育成像の作成
- ゲストスピーカーの人脈づくり
- レポートへのフィードバック
- クリッカーの導入
- 大人数授業へPBL導入
- 学生からゲストスピーカーへの質問と回答
- 学生からのリクエスト対応
- **継続的な数値分析**

授業アンケート経緯（地域ライフプラン）

※「1. 魅力ない～も魅力ある」の4段階で調査

時期	富山の地域活動認知				富山の自然認知				富山県内の就職先魅力				県外地方の就職先魅力 (標準値は県内の魅力)				大都市圏の就職先魅力			
	開始	終了	差	%	開始	終了	差	%	開始	終了	差	%	開始	終了	差	%	開始	終了	差	%
H28春	2.28	3.75	1.52	52 ***	3.04	4.27	1.23	52 ***	3.96	4.82	.85	52 ***	4.22	4.67	.45	49	3.82	3.74	-.08	149
H28夏	2.28	3.64	1.36	149 ***	2.87	3.94	1.07	149 ***	3.57	4.26	.69	149 ***	3.97	4.13	.16	149	3.82	3.74	-.08	149
H28秋	3.92	3.26	-0.66	129 ***	2.60	3.45	.85	129 ***	3.52	4.23	.71	129 ***	3.58	3.95	.37	129 **	3.80	4.01	.21	129
H29春	2.33	4.01	1.68	136 ***	3.01	4.27	1.26	136 ***	3.79	4.42	.63	127 ***	3.82	3.91	.09	127	3.83	3.45	-.38	127 ****
H29夏	2.28	3.25	.97	136 ***	2.82	3.85	.83	136 ***	3.36	3.74	.38	129 **	3.88	4.10	.22	129	3.94	3.98	.04	129
H29秋	3.96	3.71	-0.25	140 ***	2.40	3.81	1.41	140 ***	3.80	4.25	.45	138 ***	3.85	4.26	.41	138 ***	3.91	3.55	-.36	138 **
H30春	2.48	3.93	1.45	29 ***	3.31	4.24	.93	29 ***	4.46	4.57	.11	28	4.00	4.14	.14	28	4.18	4.27	.09	28
H30夏	2.37	3.35	.98	97 ***	3.06	3.85	.79	96 ***	3.22	3.56	.34	94 **	3.72	3.83	.11	94	4.25	4.27	.02	94



企業選択の因子分析結果表（一部）

因子	因子1	因子2	因子3	因子4
新設5科目の履修状況	0.85	-0.12	0.05	0.02
地方創生に関する授業	0.78	0.15	0.03	0.01
企業説明会の参加状況	0.12	0.82	-0.05	0.01
就職活動の準備状況	0.05	0.75	0.88	0.02
地方創生への関心	0.02	0.03	0.01	0.85

内面の満足と地方創生がリンク

⇒新設5科目を中心に地方創生の意義や実践事例を紹介教育の効果により学生の企業選択因子の一つが「地方創生」に連動
↓
地方創生の内的な満足が高まり企業選択の因子となった

外形的優位・仕事成果を重要視

⇒ニッチトップの県内企業紹介高い世帯可処分所得など富山の魅力、企業の魅力を訴求

これまでの授業改善概要...をまとめると

- 人材育成像の作成
- ゲストスピーカーの人脈づくり
- レポートへのフィードバック
- クリッカーの導入
- 大人数授業へPBL導入
- 学生からゲストスピーカーへの質問と回答
- 学生からのリクエスト対応
- 継続的な数値分析

将来の方向性を示す

評価基準の明確化

学生の参加を促す

対話を作る

PDCA,全体の底上げ

終了

ご清聴ありがとうございました。

講評

皆様ご苦勞様でした。さすがに授業の総合満足度が高い先生方で、非常に面白く勉強になりました。何点か気づいた点を申し上げたいと思います。

Google フォームの話がありましたけれど、今まであまりフィードバックを得られなかった学生の意見を聴取できるという意味で、IT ツールを使うことには可能性がありそうです。学生がテキストを書きますので、教員の入力負担を軽減するという利点もあります。これは是非活用していきたいところです。

初回の授業でのアンケート実施について、学生がどのようなスタンスで何を望んでいるかを聞くことは、授業の基本につながる取り組みとして感心しました。また、「旬のトピックを取り上げる」という話がありました。同じテーマであっても毎年新しい教材を作るくらいの意気込みで臨まないで、学生はなかなかついてこないと感じております。効果的な工夫と思いました。

「人に話したくなる」という発言がありました。学生が学生に教えるような授業パートがあっても良いと思います。話すことによって学べるということは先生方も感じておられることでしょう。理解できていないことは話せませんので。能動的学習というグループワークになりがちですが、学生がもっと考える、もっと積極的に学ぶ授業を作っていきたいと思えます。

地域連携推進室が担当した科目では、クリッカーで授業の開始時と終了時にどれだけ学んだかを確認していました。目標としていた能力がついたかを、学生に確認させるというようなプロセスは、非常に効果的かと思えます。

そしてオムニバス形式の授業では、先生方を集めるだけでなく、主体となる先生がしっかりと授業をコントロールする必要があります。どのような目的でやっているのかを、先生方と学生双方に徹底することが重要です。来年度はさまざまな部局の先生方が分担する SDGs 科目が予定されていますが、総合科目系では、今までばらばらに捉えられていた知見を結びつけて、社会に必要な能力として身につけさせていくことが求められます。薬学部を中心に「薬都とやま学」を、また都市デザイン学部の「教養としての都市デザイン学」というオムニバス形式の授業を令和4年度から計画しています。授業を組織的に計画していくなかで、学生さんに必要な能力を身につけて貰えるようにしていきたいです。

今日はいろいろと勉強になりました。発表いただいた先生方、ありがとうございました。そして参加いただきました先生方もありがとうございました。最後に、授業満足度がちょっと芳しくないと思われる先生へ、この内容が届くような取り組みを教養教育院としては引き続き行っていきたいと思えます。どうぞよろしく申し上げます。

教養教育院長（理事・副学長）

武山 良三

富山大学 教養教育院 F D活動報告
令和2年度第3回F D研修会

発行年月	2021年3月
作成	教養教育院 教育改善検討 ワーキンググループ
ワーキンググループ構成員	彦坂 泰正 上田 理恵子 杉森 保 谷口 美樹 山岸 倫子
表紙デザイン	武山 良三